

日本ハンドボール協会公認球

シムレス ボール

ELEVEN号

ご用命は、もよりの **タチカラ株式会社**
 運動具店へ (271) 3318~9. (841) 6868

日本ハンドボール協会公認球


一番広く使われて居る!

セッター

サービス部
 新宿区新宿2丁目電停前
 TEL (34)2979・1016

望月運動用品KK
 東京都墨田区横川橋4丁目6
 TEL 本所 (622) 0746

最高の品質を誇る **ミカドハンドボール**



日本ハンドボール協会公認球

ミカド商会

東京・豊島・巣鴨・7丁目1696
 TEL (941) 2635・6592

日本ハンドボール協会公認球

ピコック印ボール

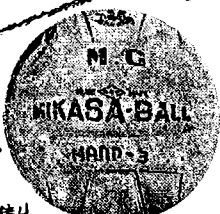


前田運動具製作所

東京・江東区大島町5-538 TEL (681) 9197・9198

定評ある!

日本ハンドボール協会公認球



最大の生産能力 最高の技術を有する!

新発売!!
 皮革(18枚貼)製

ミカサボール

11670
 11670
 11670
 11670
 11670

551 2952

1 9 6 1 年 の 回 顧

日本ハンドボール協会 理事 長 高 嶋 洸

1961年は日本ハンドボール球界にとって実に意

義のある一年だった。よろこびも悲しみもあったが、これはすべて球界の前進を物語るものである。協会設立らしいの念願だった海外遠征が、三月世界選手権大会(七人制)の参加で実現したことである。世界選手権は強豪ルーマニア、チェコのグループにはいつて悔

いることなく戦ってきた。さらに大会後はフランス、チェコ、ドイツ、イスラエルを転戦し13勝10敗2引き分けの好成績をあげて帰国した。この戦績は必ずしもいいとは思わないが、初めての海外遠征としては満足していると思う。十月には名門の日本大が韓国から招待されて日韓親善の一役を買って遠征したことも世界選手権参加以上に意義があった。一年のうちで二度も海外遠征できたことは大きなプラスである。でき得れば1962年も、そして1963年も海外遠征したいと思っている。そればかりでなく、ヨーロッパの強豪を日本に招待して、きたるべき1968年のオリンピックに備えたいと思っている。

オリンピックといえ1964年の東京オリンピック大会の開催種目から除外されたのは実にくやしい出

に……。

しかし正式に除外と決まったからには、この決定に従うのがアマチュアスポーツマンの態度であろう。全国ハンドボール・ファンに対しては、ほんとうに申しわけないと思っている。

国内の発展ぶりには大いによるこんでいる。それは女子実業団チームの前進である。大崎電気、レナウン工業、熊本大洋デパートの誕生があり、いずれもトップ・レベルにある。関係者の熱意には感謝している。

また秋田の国体では、大曲、湯沢両市がハンドボールに対して非常な熱意を持ち、第十七回国体(岡山)は女子ハンドボール発祥の地ともいふべき倉敷市で開かれる。

年々地方都市がハンドボールの普及に熱意をみせているのは、ハンドボール関係者にとってうれしいニュースである。日本ハンドボール協会を預かる私ら一同は、さらに努力を重ねて日本のレベルを一段と伸ばしたいと念願している。

来事である。夢にまでみた「五輪参加」が東京オリンピック組織委員会会の横暴によって消え失せた。式場会長はじめ国際ハンドボール連盟までも「五輪参加」に努力してきたの

「ハンドボール」

第八号目次

巻頭言「1961年の回顧」 高嶋 洸 (1)

日韓親善国際試合

日本大、京城・大邱で六戦全勝 (2)

韓国球界の動き (4)

座談会・韓国みたま (7)

天皇杯東京が初の総合優勝
国皇后杯は茨城と愛知で首位わかる (10)

大崎電気初優勝飾る (11)

愛知紡が連続優勝 (10)

兵庫工、粘りの初優勝 (12)

水海道二高が二度目 (13)

総評 大崎練習量で桜丘会しのぐ (14)

学 生 界

王座決定・芝工大が三たび優勝 (18)

東西対抗・西軍、速攻で二連勝 (19)

東日本・芝浦工大真録しめす (19)

西日本・同志社大が初の代表 (20)

関 東・芝工大の独走 (22)

西・同志社大が四度目の優勝 (20)

1961年・10大ニュース (23)

楽 書 帖 (16)

時 評 (16)

話題のチーム (31)

ヨーロッパ遠征リポート

ヨーロッパ遠征記② 高嶋 洸 (24)

欧州における審判の方法③ 荒川清美 (25)

ハンドボールの

スポーツ傷害 (28)

技術研究室

ポストブレイクについて 松本重雄 (26)

スポーツライイト 鈴木レナウン社長 (17)

表紙写真 国体高校女子決勝、水海道二高対静岡城北戦



日体大、京城・大邱で六戦全勝

——日韓親善国際ハンドボール——

日体大ハンドボールチームは韓国ハンドボール協会の招きで10月19日午前9時30分羽田発のノース・ウェスト機で韓国を訪問、ソウル(京城)、大邱で国際親善試合を行なった。成績は6戦6勝で、10月31日午前零時羽田着のノース・ウェスト機で帰国した。日体大チームは10月19日午後零時50分ソウル(京城)郊外の金浦飛行場に到着、直ちに国軍墓地に参拝した。この墓地は二十六年の朝鮮動乱で二十五万人の戦死者を祭っており、日本のスポーツマンとしては初めての参拝である。21日ソウル(京城)の第一戦を皮切りにソウルで4試合、大邱で2試合を行ない、日本のハンドボールの妙味をいかに発揮した。観衆も日本では想像もつかぬほど多く、六日間で87、000人を動員した。韓国には日体大の出身者が約百八十人いる。栗本団長、馬場副団長、荒川監督、若崎審判員の先輩、後輩が同行したのは、日韓親善のために極めて有意義な遠征だった。なかでも韓国の文教部(日本の文部省に相当する)の体育局長、崔東淳氏は馬場副団長、荒川監督らの親友であり、日体大の訪問を心からよこんでいた。(カット写真は対慶北大戦から)

すばらしい 速攻に驚く 押しかけた大観衆

▽第一戦(10月21日、京城孝昌球技場)観衆 12、000人 全
国ラジオ放送 〃

日体大 22(13-7)
慶熙大 9(4)

▽30分ハーフ

▽スコアオフ 日体大

▽主審 朴淳哲(韓国協会理事)

(評) 韓国のプレーをみると、バスケットボールのプレーをやっ

ていふもの。フットワークはすばらしいし、ドリブルをよく使う。ジャンプ・パス、ジャンプ・シュートと日本では想像もつかないプレーをする。およそハンドボ

ールらしくない。慶熙大は前半こんなプレーを続けたが、日体大の攻撃、守備をみて後半すつかり戦法を替え、ようやくハンドボールらしくなった。韓国のNO.1とい

た。後半慶熙大はポスト・プレーを多用した。日体大バックスが浮いたところを、このポスト・プレーで得点していた。後半はむしろ慶熙大のベースといっているほど善戦した。慶熙大はゴール前に殺到すると中央だけを使い、サイドはほとんど使わなかった。韓国のハンドボールがバスケットボール級だったので、日体大が見せたす

(評) この試合には慶尚北道知事の朴海軍中将夫妻が観戦した。大邱地方はサッカー、バスケットボールよりもハンドボールが盛んなところである。

慶北大は粗雑なパス、不正確なシュートで日体大に歯がたたなごった。日体大は速攻、しかもみごとなラン・パスで慶北大のデフェンスを簡単に破り、13分までに8-0とリードした。慶北大は15分にやっと金(忠)のシュートで初めて得点し、16分には趙が14メートルスローを決めた。後半は川上、小林が連続シュートして22分

日体大チームを見て

ハンドボール 開眼の思い

ソウル日日新聞社

申徳相

韓日親善ハンドボール競技のため来韓した日体大チームは、韓国のプレーヤーにまたハンドボールファンに開眼の機会を与えてくれた。韓国ハンドボール界にとっては国際競技の処女対戦であり、しかも韓国のレベルを知る絶好のチャンスだった。

しかも相当期待をもっていたし、実力は五十歩百歩であろうと予想した。しかし結果はあまりにも悲惨なものであった。▽日体大の息づまるような速攻とシュートが継続し、正確な得点が展開するのを見たとき、韓国側には失望とともに大きく

には18-5と大差をつけた。慶北大は単身ドリブル、ミドルシュートで善戦したが、プレーそのものは荒けずりだが、アタックが非常に鋭った。基礎技術をつけると大いに伸びるチームだった。

▽第4戦(10月25日、大邱総合運動場) 観衆 23,000人
日体大 18(9-2) 4 選抜

▽30分ハーフ
▽スローオフ 大邱学生選抜
▽主審 若崎(日体大OB、国際審判員)

反071852220000000000	得001000003208000400	【日体大】
S00110028511402990	得0000000001362660	植得萬洋(慶慶虎吉南圭品)
反031212143240	得00000000200200	仁青照海(仁成永玉在大邱)
24 4 27	1/3 14メートル	白林宋(金金曾羅諾金黃)
	スロー	

(評) 大邱学生選抜チームは嶺南高校のOBチーム、実力は日本にハンドボールが移入した当時の大

学のレベルである。大邱チームには慶熙大の羅永吉、宋熙万、諸葛玉南が加わったがチームプレーは全くみられず、ほとんど個人プレーだった。バスケットボールのクセが抜けず、ドリブルが多く、スピードはない。

日体大は前半で青木が5点、北山が2点、川上が1点、林が1点を入れて大勢を決した。大邱選抜の得点は前半19分に黄、28分に羅が(14メートルスロー)後半14分に黄、22分に羅が得点しただけである。終始日体大のペースだった。

反則続出の延世大

▽第5戦(10月28日、京城孝昌球技場) 観衆 5,000人
日体大 21(7-4) 10 延世大

▽30分ハーフ
▽スローオフ 延世大

反0522101310201000	得00000015204801000	【日体大】
S00110185141201100	得000000063004701000	【延世大】
反04244500322120032	得0010000241000000	權圭珠(男) 崔泰俊(男) 朴相性(男)
34 10 27	0/0 14メートル	金李康(女) 申林(女) 沈金(女) 吳金(女) 宋(女)
	スロー	

▽第6戦(10月29日、京城孝昌球技場) 観衆 7,000人
日体大 21(7-6) 8 光州師範

▽30分ハーフ
▽スローオフ 光州師範大
▽主審 文頭柱(慶熙大教授、日体大OB)

反0440281311000000	得000000063004701000	【日体大】
S00000001060051101000	得0010000241000000	【光州師範】
反05313611231151100	得0010000241000000	權圭珠(男) 崔泰俊(男) 朴相性(男)
31 8 27	0/0 14メートル	金李康(女) 申林(女) 沈金(女) 吳金(女) 宋(女)
	スロー	



第3戦 日体大対慶北大戦

6 ゴロのシュート

7 そうして攻撃陣の全員がひとしく左右のシュートをするなど初めて見るプレーだった。

▽：日体大のチームは6ゲームを通じてギブ・アンド・ゴートのパスを見せた。そして韓国チームの守備陣をさそい込み、かく乱してから自由自在にシュート・チャンスをつくり、正確なシュートで得点128点、失点45という記録を残した。ランニング、ジャンピング、シュートにいたるまで基本的訓練を十分積んでいた。これに対して韓国チームはフォーメーションもなく、無理にシュートしていた。それだけに日体大のプレーをみ

てよい経験になったと思う。日体大の栗本学長は韓国側のチームに対して次のような点を指摘してくれた。

- 1 個人プレーがあまりにも多い。このためシステムを整えることができない。
- 2 ドリブルが多いので速攻にならない。そして相手のデフェンスに余裕を与えている。
- 3 プレーが単純で総合力がない。

▽：栗本団長は「韓国の選手はすぐれた体力を持っているので、遠からず国際水準に達するだろう。三十七年には韓国の大学チームを日本に招待したい」

と語った。日本は国際試合と海外遠征で経験と実力を磨いたとのことであり、日本の高校チームが約七百とぎいて実にうらやましい。二十余年前に韓国人によってスタートした日本のハンドボールがこんなに強くなっていく。われわれ韓国チームは大いに発奮しなければならぬ。ハンドボールは日体大のようにスピードがあり、スリルなものであるということ、韓国に教えてくれた。ハンドボールを科学的に研究しなければならぬ。

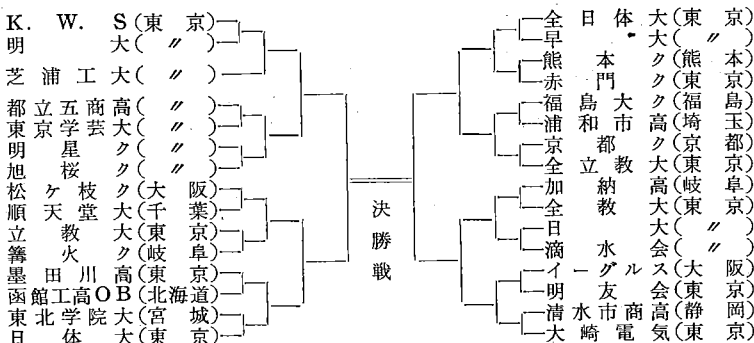
遠征余話

▽：韓国遠征から帰国した馬場副会長は「韓国へ着いたらいきなり赤飯を出された。これには驚きもしたし、うれしくもあった」という。ところが次のことばがふるっている。「実はそうぢやないんだよ。いまの韓国は軍事政権だろ。法律で白い米を食べることを禁じている。だからコリアンなど雑穀を入れて食べるんだ。だからホテルとしては赤飯のつもりではなく、法律に従ったまでのことさ」。

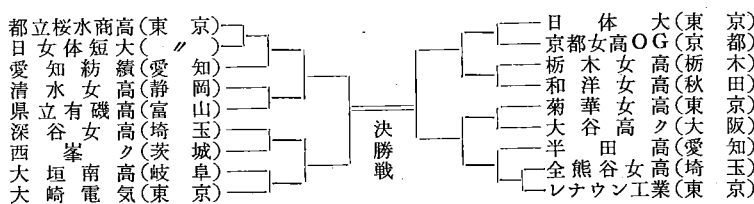
第八回全日本総合室内ハンドボール選手権

36年12月20日～23日

(男子)



(女子)



(評) 光州は体育の教師ばかりだったので、第6戦でやっとハンドボールの試合らしくなった。前半日体大速攻で光州バックスを思う存分かき回し、14-2と大差をつけた。光州は後半になって日体大の攻め方をおぼえ、逆に日体大がメンバーを落としたので好試合となった。後半1分廉、9分30秒朴(三)、11分朴(千)がシュートして3-1と光州がリードした。この善戦は立派だった。日体大は小林、青木にボールを集めて打たせ後半7-6と逆転した。光州チームは練習次第では韓国NO1になろう。ゲーム終了後に日体大チームを紅白に分けて七人制を披露した。初めてみる日本の七人制に韓国ファンは目を見はり、そのスピードに驚いていた。

日体大留學生が紹介

韓国ハンドボール界のあゆみ

韓国のハンドボールは第11回ルリン・オリンピック大会が終了後に、日本陸上競技連盟がハンドボールの規則書を持ち帰った。当時日本に留学していた韓国の學生が1936年の秋に日本体育研究所で開かれた練習会に出席した。このとき初めて韓国がハンドボールを研究したことになる。そのころ韓国の留學生は日体大に在学していた。李雨球、朴濟煥、柳錫興らがハンドボールを習得して帰国し、韓国に紹介した。その後本格的にハンドボールに打ち込んだ。それ以前に当時の普成専門學校（現在の高麗大學）に勤務していた李氏の手によって、体育の時間に簡易ハンドボール的なものをやっていた。1941年に全国体育大會（當時は第十七回朝鮮神宮大會）内地の神宮大會に相当する）に正式種目として登場した。一般チームは鷄明クラブ（日体出身者）、海州チーム、男子中學は海州東中學、普成中學、徵文中學、

女子中學は京城女商、培花女商が出席した。初めての競技会としては最高の出来ばいで、朝鮮スポーツ界にデビューした。この大會の前年（1940年）に朝鮮送球協會が設立した。その後回を重ねるにつれて、ハンドボールの持つ体育的特徴から各學校に普及され、国技として發展する途上にあつた。不幸にして第二次世界大戰の勃発でそのチャンスを逸した。

国内の組織

8道1特別市、計9支部
（道とは日本の県に相当する）
（チーム数）
一般 4
大學 男子 12 女子 2
高校 男子 180 女子 60
中學 男子 90 女子 40
計 394

全国種目別選手權大會參加チーム

一般 4
大學 男子 6 女子 2
高校 男子 18 女子 8
中學 男子 10 女子 6
計 54

▽會長

初代 李丙学
二代 李宜根
三代 韓炳喆（現在）

高校生を招きたい

日韓懇談会で韓国側希望

日本、韓国両ハンドボール協會は10月29日の第6戦の試合終了後に懇談会を開いた。席上韓国側から『日体大の韓国遠征によってハンドボールの真髓をみせてくれた。とくに速攻のすばらしさは感心した。韓国ではいつも前半を終るとファンは帰ってしまいが、日体大の速攻がすばらしかったので最後までゲームを見ていた。こんなことは珍しいことである』と日体大の速攻をほめていた。このあと『日本から優秀なコーチが二人来てくれると実にうれしいのだが……。二年間みつもりコーチして……。二年間みつもりコーチして……。』とコーチ派遣を希望してきた。さらに『来年は韓国から大學チームを日本に遠征させたい。日本からは高校チームを韓国へ遠征させてほしい』と日韓親善試合の開催を申し入れた。日本側は『出来るだけ努力する』と返答して懇談会を終った。



座 談 会

韓国みたま、感じたま

韓国球界の動き



京城のメインストリート風景

出席者

韓国遠征日体大チーム

団 長 栗 本 義 彦
 監 督 荒 川 清 美
 司 会 的 場 益 雄

ホテルで毎日赤飯攻め

司会 帰国早々お疲れのところどうもご苦勞さんです。きょうは韓国を見て感じたままをお話ししたいと思います。

荒川 どうでしょう。韓国のハンドボール界に限定せず、スポーツ界という立場から、栗本団長にまず話してもらっては。

栗本 韓国はご承知の通り李政権の腐敗による政治の失敗からクーデターが起り、現在の朴議長による軍事政権になった。一口に言えば、統制下にあつて貧富の差も非常なものだ。またわれわれの食事に出すお茶もじゅうぶんにない。あるホテルではご飯をたいたとき、お鍋に焦げついたものをお湯にとかしてお客にさし出した。まあこんな経済状態なんだ。

司会 それでは食物が少ないですか。

栗本 食物はたくさんあるようだね？

司会 それはどういう意味でしょうか。

栗本 食物だけはたくさんあつても、工業的な生産がなく、文化的な経済生活がでないということかな。

荒川 ホテルでも麦飯を出しましたよ。ああそうそうホテルで赤飯を出してくれたのには笑いましたね……。最初のホテルで赤飯が出たんだ。選手達はこんなにわれわれの歓迎をホテルの人たちまでやつてくれるのだということで感激したんだ。ところが次にもまた赤飯だ。おや！と思つた

よ。これでは赤飯攻めだと言つて笑つたんだが。常食はホテルでもどこでも雑穀三割というところらしい。

司会 大分統制が徹底しているようですが、娯楽やスポーツの方面はどうですか。

栗本 健全な娯楽をということではスポーツに目をつけているようにも思われた。

司会 荒川君、娯楽は日本にくらべてどうですか。自由ですか。

麻雀、パチンコは厳禁

荒川 とんでもない。マージャン、パチンコ、ダンスなどは厳禁のようです。

司会 それなら日本のような一般大衆の娯楽を禁じてスポーツを奨励しているわけですか。

栗本 まあそのような考え方もあるが、それ以外にスポーツによる体力養成を考慮している。その国民の体力養成は国力に通ずると考えている。

司会 そうですかね？ それでは戦時下の日本での考え方と同じですね……。

荒川 まあ似通つている点は確かにある。夜遅くの外出は厳禁だ。ひどいもんですよ。とにかく夜十一時半になるとサイレンが鳴る。十二時に再びサイレンだ。そのとき戸外で酒で酔つていようものなら容赦なしに「ブタ箱入り」とのことだ。

韓国球界の動き

司会 さて韓国ではどんなスポーツが普及していますか。

栗本 韓国も日本とだいたい同じようなスポーツだと考えればよい。体育協会に加盟している競技種目は三十六種目といって、ちよつとヤマをかけているのかもしれない。

司会 韓国のハンドボールについて。

栗本 一九六〇年に国際ハンドボール連盟に加盟が認められた。本部ならびに支部の組織についてはまだじゅうぶんでないようだ。しかし文教部の体育局長の崔東淳君が韓国ハンドボール協会の審判部長をしているところをみても、役員はそろっている。



さながら日体大OB会の観がある、韓国ハンドボール界要人との歓談風景。
左から 崔東淳文教部体育局長、荒川清美監督、洪淳泰韓国ハンドボール協会理事長、文顕柱同技術委員長、韓炳喆同協会長。(京城ホテル前にて)

司会 崔(さい)という名前は聞いたことがある名前ですなあ——。日体出身ですか。

栗本 そうだ。日体大の卒業生が韓国のスポーツ界で活躍している。ハンドボール協会長の韓炳喆(かんへいきち)、成均大教授(成均大教授)、理事長の洪淳泰(こうじゆんたい)もそうであった。

個人プレーが多い韓国

栗本 十月二十一日の最初の試合(京城)では少し心配した。韓国チームは背も高いし、腕力も日本チームより秀れているように見えたので、ひよつとすると食われるかもしれないとひそかに心配した。

荒川 そうだった。実際これはいかんとさすがの自分も心配していた。

司会 私は新聞で22—7の成績を見てこの成績なら日本では二部以下の力だと考えたのですが。

荒川 そうではなない。シュートは強力がチーム力がない。結



大邱ホテル前にて作戦をさずける荒川監督

撃の幅がなかった。

司会 この話をきいていると初心者者のプレーのようだ。日本も以前このようなプレーが多かったことを思い出す。ドイツ、ルーマニアなど世界のトップレベル・チームとゲームやっているうちに、このように技術の差がついたのかもしれない。自己反省の意味でもこうした外国遠征は意義がありますね……。ところで守備について話してくださいませんか。

初心者者のプレーのよう

荒川 守備はマン・ツー・マンでもなしゾーンでもない。ボールのある方へバックスがつかれて集っていたね。またボールを持った相手に対しアタックがない。だからよく走ってパスで攻撃すれば容易に得点できた。

司会 キーパーはどうでした。

荒川 キーパーはわりと上手だが、キーパーはバックスとのコンビが全然なかった。また下が特に弱かった。今まで上ばかりシュートされたから、下の練習はしていなかったのかもしれないね……。

司会 審判上なにか違い点はあるませんでしたか。

荒川 審判上のトラブルはなかった。しかし相手に対する動作では若干考え方が違っているようだった。パスケット的に考えているようだった。最初の試合で日本のバックスが荒いと感じたらしい。次の試合か

ら韓国の反則が急に増えた。

栗本 規則をじょうぶに知らないらしいね。日本チームが何回も交代するのを見て驚いていた。そして自分のところへも質問にきた。

荒川 反則の笛に対し、その反則がなんの反則かわからぬので審判にきいたりしてた。

司会 それでは日本で創案してやっているジュエスターを教える必要があったわけだね。

栗本 ジュエスターは、プレーヤーにも記録員にもはつきりさせると同時に、審判の確立の上にも役立っているね。

司会 韓国の審判員について感じたことはありますか。

栗本 審判員の笛が遅いね。フリースローの場合などゆつくり笛を吹く。

荒川 団長がおっしゃるようになるのんびりしているというか、ちょっと遅すぎますね。

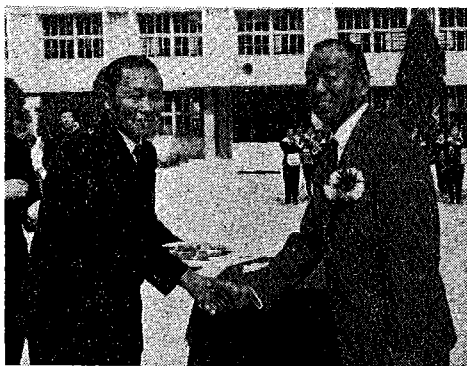
司会 そのほかにかお話はありますか。

高価な日本出版の本

栗本 韓国では日本版の本が高価だね。米国の息のかかった統制下にあるためか、英文の本もたくさんある。しかし日本の本は少ない。とても日本の本をほしがっている。

荒川 いましい出したが、韓国で最初の

韓国球界の動き



高校訪問で李校長と握手する栗本団長(右)

あいさつは英語だった。英語は自分もあまり強い方でないのでもちょっと困った。ところが先方も儀礼的に最初だけで、途中から日本語で互に話し合った。米国式の軍制下だからかもしれない。

司会 今後の日韓親善ゲームについてなにか話がありましたか。

栗本 韓国は日本に教わる立場であるからとも希望していた。来年度大学チームをぜひ日本へ派遣したいから招待してほしいと熱願していた。こちらもその希望をか

なえるよう帰国後関係者とも相談して努力するといっておいた。

荒川 日本の高校チームを韓国へ招待したいと申しましたね。

栗本 そんなことを言っていたね。それか

ら韓国の将来の見とおしだが、現在はいま話し合ったようにハンドボールの技術も未熟だ。しかし体力もあるし、スポーツに対する対策が徹底しているから数年のうちに

は恐るべきチームになる気がするね……。

荒川 実際そう感じましたよ。

栗本 韓国スポーツ界の要人や新聞記者たちからもよくその点を聞かれた。お世辞というよりも実際そう思ったので卒直にほめておいた。大いに期待しているといったらとても喜んでた。

司会 長時間にわたりどうもありがとうございました。大変参考になりました。重ねてお礼を申しあげます。

海外ハンドボール通信

▽ルーマニアで開かれた今年度ブカレスト杯選手権(ルーマニア選手権)に、ソビエトチームが参加し注目をあびた。大会はリーグ戦形式で行われたが、ブカレストが全勝優勝、ソ連は二位だった。

ブカレストJ	19	4	バンヂャ・ルカ
ブカレスト	18	14	ソビエト
ブカレスト	32	22	ブカレストJ
ブタベスト	23	18	バンヂャ・ルカ
ソビエト	17	13	ブカレストJ
ブカレスト	18	9	ブタベスト
バンヂャ・ルカ	14	13	ソビエト

▽国際試合成績

西ドイツ	20	19	6	12	オーストリア	
ルーマニア	25	15	10	4	6	フランス

▽今秋ルーマニア遠征を噂された日本チームは、都合によってこの予定をいちじ延期した。これは東京で開かれた世界アマ・レス選手権に参加していたルーマニア役員と日本ハンドボール協会との話し合いによって決まったものである。



大邱の街路で朝のトレーニングをする選手たち

天皇杯、東京が初の総合優勝

皇后杯は茨城と愛知で首位わける

第十六回国民体育大会ハンドボール競技は十月九日から十二日まで大曲市(一般男女)、湯沢市(高校男女)で行なわれた。

一般男子は大崎電気(東京)が名門桜丘会(愛知)を破って初優勝、女子は愛知紡(愛知)が新進の大洋デパート(熊本)を押えて2連勝した。高校男子は優勝候補の中京商(愛知)が準々決勝で桐生工(群馬)に4-3で敗れる番狂わせがあり、決勝は兵庫工(兵庫)と盛岡第一(岩手)の間で争われた結果、兵庫工が初優勝した。女子は名門同士の静岡城北(静岡)と水海道第二(茨城)で決勝戦を行ない、水海道第二が1点差で静岡城北を押えて、第十二回大会いらい二度目の優勝をとげた。

天皇杯得点は東京都が1位となり、初めて総合優勝した。皇后杯得点は茨城、愛知がともに8・5点をあげて1位を分け合った。(カット写真は開会式の秋田民謡おどり)

天皇杯得点①東京10点 ②愛知7点 ③富山6点 ④兵庫5点 ⑤大阪4点 ⑥秋田2.5点 ⑦茨城2.5点 ⑧岩手0.33点 ⑨静岡0.33点 ⑩熊本0.33点
 皇后杯得点①茨城8.5点 ②愛知8.5点 ③熊本6点 ④富山5点 ⑤秋田4点 ⑥静岡3点 ⑦東京2点 ⑧大阪1点

大崎電気、初優勝飾る

一般男子

▽一回戦	全広島 22-5	小松クラブ (石川)	函館サンダ 1スクラブ	桐生クラブ (群馬)	10-7	北海道	神戸スト1	全神奈川 (神奈川)	全岩手手 14-13	住友化学菊本(愛媛)	10-8	全神奈川 (神奈川)	全岩手手 9	水見クラブ (富山)	21-6	青森クラブ (静岡)
▽二回戦	全岡山 21-13	鶴森クラブ (三重)	福岡クラブ (福岡)	北長野 6-5	京都クラブ (京都)	19-17	全埼玉 (埼玉)	全長野 6-5	全岩手手 9	水見クラブ (富山)	21-6	青森クラブ (静岡)	全岩手手 9	水見クラブ (富山)	21-6	青森クラブ (静岡)
▽三回戦	全岡山 21-13	鶴森クラブ (三重)	福岡クラブ (福岡)	北長野 6-5	京都クラブ (京都)	19-17	全埼玉 (埼玉)	全長野 6-5	全岩手手 9	水見クラブ (富山)	21-6	青森クラブ (静岡)	全岩手手 9	水見クラブ (富山)	21-6	青森クラブ (静岡)
▽四回戦	全岡山 21-13	鶴森クラブ (三重)	福岡クラブ (福岡)	北長野 6-5	京都クラブ (京都)	19-17	全埼玉 (埼玉)	全長野 6-5	全岩手手 9	水見クラブ (富山)	21-6	青森クラブ (静岡)	全岩手手 9	水見クラブ (富山)	21-6	青森クラブ (静岡)

大崎電気	12 (4-4)	清商クラブ	6
大阪クラブ	12 (6-1)	京都クラブ	3
▽準決勝			
桜丘会	12 (6-4)	水見クラブ	10
見田部宮田原永新前町口	6		
氷飛 岡鏡西萩池端越十谷	2		
田 美井藤島野部田野村	1		
GK FB HB FW			
尾之内			
27	シュート	26	
44	反則	35	
0	14メートルスロー	1	

◇得点の上では接戦の形だが、試合の内容はお粗末だった。速攻のチームもグラウンドが悪かったのでもらならず、桜丘会が前半のリードを守って逃げ切った。立ち上がり水見はゴール前でよく動いたが、桜丘会はベテランぞろいで自分のベースで動き、高村にボールを集めて着々と加点した。水見は高校のOBだけあって若さがあり、最後まで桜丘会を苦しめたのはりっぱだった。

大崎電気 11 (6-5) 10 大阪クラブ

見田部宮田原永新前町口	丸莊市村井	丸莊市村井	丸莊市村井
GK FB HB FW			
尾之内			
29	シュート	29	
41	反則	41	
0	14メートルスロー	0	

国体優勝チーム一覧表

種別	一般男子	一般女子	高校男子	高校女子
第1回	全 関 西	豊中高女OG(大阪)	豊 中 中(大阪)	豊 中 女(大阪)
第2回	大阪クラブ(大阪)	大阪女子クラブ(〃)	天王寺中(〃)	茨 木 女(〃)
第3回	全 九 州	大阪クラブ(〃)	天 王 寺(〃)	春 日 丘(〃)
第4回	東京クラブ(東京)	〃	〃	岡 山 第 一(岡山)
第5回	福岡クラブ(福岡)	青 陵 O G(〃)	足 利(栃木)	春 日 丘(大阪)
第6回	大阪クラブ(大阪)	岡山クラブ(〃)	桜 台(愛知)	青 陵(岡山)
第7回	〃 (〃)	青 陵 クラブ(〃)	〃	稲 沢(愛知)
第8回	〃 (〃)	北星クラブ(北海道)	〃	〃
第9回	東京クラブ(東京)	大阪クラブ(大阪)	済 々 巽(熊本)	寝 屋 川(大阪)
第10回	山口クラブ(山口)	稲 沢 クラブ(愛知)	桜 台(愛知)	明 善(福岡)
第11回	桜 丘 会(愛知)	明 善 クラブ(岡山)	〃	熊 本 市 立(熊本)
第12回	大阪クラブ(大阪)	全愛知クラブ(愛知)	〃	静 岡 城 北(静岡)
第13回	芝浦クラブ(東京)	寝屋川クラブ(大阪)	氷 見(富山)	水 海 道 第 二(茨城)
第14回	大阪クラブ(大阪)	〃	鎌倉学園(神奈川)	熊 本 市 立(熊本)
第15回	桜 丘 会(愛知)	愛 知 紡 績(愛知)	中 京 商(愛知)	半 田(愛知)
第16回	大 崎 電 気(東京)	〃	兵 庫 工(兵庫)	水 海 道 第 二(茨城)

◇前半15分まで大阪は村中が3点、井上が2点、大崎は竹野ひとり3点をあげ、5-3と大阪がリードした。ちよっとしたスキがすぐ得点に結びつくほどだった。15分を過ぎてから大崎のバックスは厚いかべをひいたので、大阪は

決まった。
 ▼三位決定戦
 大阪クラ 17(11-7) 12 氷見クラ
 大崎電気 18(11-5) 13 桜丘会
 (主審) 岡村(教大出)

▽決勝
 大崎電気 18(11-5) 13 桜丘会
 (主審) 岡村(教大出)

田美井藤馬野郡田野村(之内)
 堀佐 宇角伊豊牧服山浅高(尾之内)
 GK FB HB FW
 本村橋上口井山内藤上野(金)

シユート 29
 反 則 36
 14 トー
 1 ムスロー

大崎電気 18(11-5) 13 桜丘会
 (主審) 岡村(教大出)

愛知紡が連続優勝

一般女子

▽一回戦
 富山女高OG 4-3 高岡高OG(高知)
 全岡山(岡山) 7-3 函館フレック(北海道)

▽準々決勝
 愛知紡 12(6-1-2) 3 富山女高OG(富山)
 (愛知)

日体大 19(8-11-3) 3 全秋田(秋田)
 大洋デバ 21(7-14-4) 5 涌谷クラ(宮城)

▽準決勝
 愛知紡 7(3-4) 6 日体大
 岡藤村田 園木上
 田佐中尾 鈴村

知 崎崎本原部木田 24 20 1
 GK FB HB FW シユート 則 トー
 23 反 7 メス
 26 2

▽愛知紡が連続優勝
 ◇速攻の愛知に対して日体大は遅攻で対した。先取点は前半4分日体大の村上があげた。愛知はゴール前で日体大の遅攻にまどわされ前半4-3とリードされた。後半

半になると愛知は速攻をかけ、ゴール前のカッティンでチャンスをつくり得点した。1分宮本、5分、7分に塚原がシュートして6-4と逆転、日体大も12分鈴木、14分園が得点して6-6、愛知は18分磯部のシュートで7-6と再びリードし、そのまま逃げ込んだ。日体大は全く惜しい試合を失った。愛知のバックスをサイドにさそい込んで、中央からロングシュートしたが決まらなかった。ランスでゴールに迫ってからのシュートすれば勝っていたかもしれない。

大洋デバ 3(0-1-0) 1 大阪クラ
 富原永手池松村

洋 連
 大 徳千徳井今久西 21 25 0
 GK FB HB FW シユート 則 トー
 17 反 7 メス
 54 1

◇前半両チームとも堅くなり、無得点に終わった。後半1分大洋は久分、9分には徳永の連続シュートで大阪を3-0と離れた。大阪はすぐ追いかけ、9分30秒に大西



(邦)のゲットで3-1としたが、その後は大洋の堅いデフェンスを破れず涙をのんだ。大阪の反則54はどうしたとかか。あまりにも多すぎる。もう少しフェアでやってほしい。

▽三位決定戦
日体大 5 (1-1-1) 5 大阪クラ
(注)ともに3位

▽決勝
愛知紡 6 (2-1-0) 1 大洋デバ
(主審) 佐野(教大出)

◇大洋はやはり勝てなかった。大洋は関が抜けたため愛知紡を倒すには役者がひとり不足していた。

西村、久連松、徳永が大いに健闘

兵庫高対函館工の泥ねい戦

したが、愛知のバックスはあまりにも厚かった。大洋は後半4分に西村が1点をあげたのみ、愛知は前半戦部が7メートル・スローを2本決め、後半速攻をかけて大洋を引き離した。

兵庫工、粘りの初優勝

高校男子

洋 富原永手池松村
大 徳千徳井今久西
知 GK FB HB FW
崎崎本原部木田

24	シュート	17
19	反則	21
2	7メートル	0

▽一回戦

桐生工 12 (6-6-6) 11 小倉工 (福岡)

盛岡第一 10 (6-4-5) 8 洛星 (京都)

墨田川 10 (4-1-3) 8 新居浜工 (愛媛)

函館工 6 (3-2-2) 4 水見 (富山)

▽準々決勝

桐生工 4 (2-1-2) 3 中京商 (愛知)

盛岡第一 3 (0-3-0) 0 湯沢 (秋田)

墨田川 4 (2-1-1) 3 下関幡生工 (山口)

兵庫工 4 (2-1-3) 3 函館工 (北海道)

盛岡第一 7 (3-1-5) 6 桐生工

▽準決勝

盛岡第一 7 (3-1-5) 6 桐生工

盛岡第一 7 (3-1-5) 6 桐生工

兵庫工 8 (5-3-3) 6 墨田川
田見本原協勝津本田
濃
兵 浅石清美藤室村岩長山姫
庫 GK FB HB FW
堀本藤間田田望井田本井
田 墨田川 久 久 久 久
(武)

25	シュート	24
17	反則	23
1	14メートル	0

◇兵庫は前半左サイドから中央にローリング戦法をとり、相手のデフェンスを引きつけポストプレーによって得点した。墨田川は2-0とリードしたが、ポイントゲッター北井がマークされてFWの動きが止まり、バランスがくずれた。そこを兵庫工がうまく攻めて着々加点、前半5-3と優位に立った。後半兵庫は脚力を生かして3分姫田、7分岩崎がゲットすれば、墨田川も北井、松田がシュートして7-5と追ったが、この2点差をひっくり返せなかった。兵庫はポストプレーと早いアタックが勝因。墨田川はバックのタマ出しが悪く、これが致命傷となった。しかも攻撃が断片的であり、兵庫デフェンスでのドリブルがまじった。



前半で早くも6-2とリード、優勝確定と喜ぶ兵庫工のハーフタイム

▽三位決定戦

墨田川 9 (6-4-9) 9 桐生工

▽引き分け、ともに三位

▽決勝

兵庫工 10 (6-2-3) 盛岡第一

(主審) 中沢(芝浦工大出)

◇兵庫はよく走った。姫田、山本のFWコンビはすばらしく、ランパスで盛岡のゴール前に殺到し、左サイドから攻撃して盛岡を破った。試合は前半で決まっていたが、盛岡は前半6分から22分まで無得点だったのはどうしたことか。兵庫のデフェンスが予想以上に厚くどうしても破れなかった。後半は兵庫のペース、早いアタックで盛岡の出足を押えたのがよかった。

水海道二高が二度目

高校女子

▽一回戦

県尼ヶ崎 (兵庫) 7 (5 2 | 1 0) 2
清水ヶ丘 (北海道)

富山女 (富山) 7 (4 3 | 1 2) 4
花巻南 (岩手)

▽準々決勝

静岡城北 14 (7 7 | 1 3) 4
県尼ヶ崎 (兵庫)

秋田和洋 10 (7 3 | 1 3) 7
新居浜東 (愛媛)

水海道二 (茨城) 11 (7 4 | 1 2) 4
徳山 (山口)

富山女 (富山) 9 (3 6 | 1 3) 4
菊池農蚕 (熊本)

▽準決勝

静岡城北 7 (1 2 3 | 1 1 1) 2
秋田和洋 女

洋) 藤山口山藤田太藤部田
和佐山新斎太須信伊(阿武)

GK FHB FW
岡) 崎木瀬 本川川藤山口

静岡鈴瀬 山黒吉(加亀山) 林
30 27 3
11 32 1

水海道二 9 (5 1 | 1 0) 1 富山女

木辺倉田村川原(上山)村
水海道 36 12 2

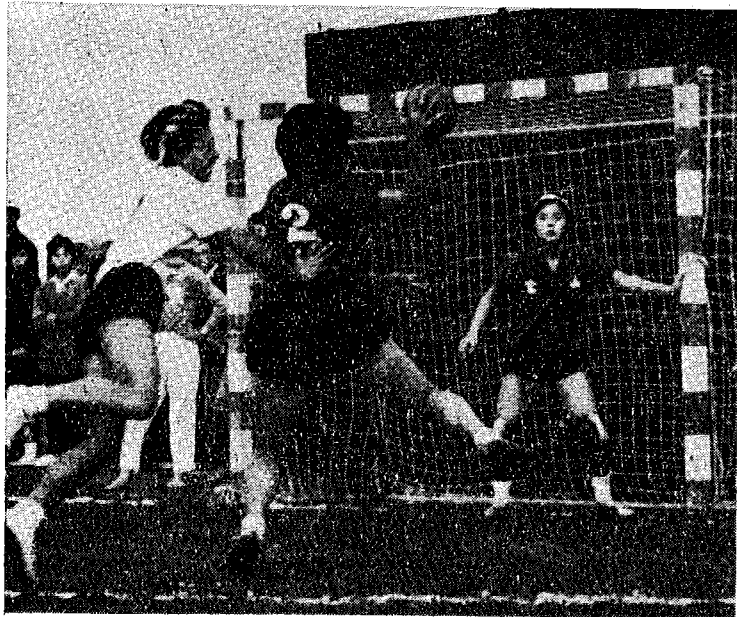
水) 鈴渡横川田滝笠(後香木)
GK FHB FW

井坂崎沢田 沢 倉浦瀬
富松藤山井黒 大(吉大永)

14 32 1
シュート 36
反 7
ゴール 12

◇城北は前半7メートルスローを2本失敗したり、パスミスをくり返してチャンスをおがした。和洋は地元の声援に気をよくして前半リードし、後半も城北を圧倒したがついに延長となった。延長になると和洋はセット・プレーにこだわったため速攻を忘れた。これが大きな敗因となり、城北の速攻に敗れた。

◇すべての点で水海道がすぐれており、試合はワンサイドに終わった。水海道は渡辺にボールを回してポストをあげ、田村、滝川、笠



富山女高対秋田和洋女戦から

原の三人がポストを使っ
ト・イン・シュートで富山を押
た。富山は水海道のセット・オフ
ランスについて行けず、これを防
ぐのに懸命だった。

▽三位決定戦

富山女 5 (4 1 | 1 2) 3
秋田和洋 女

▽決勝

水海道二 4 (2 1 | 0 3) 3 静岡城北

(主審) 松本(教大出)

水海道二 18 39 0
木辺倉田村川原(上山)村

水) 鈴渡横川田滝笠(後香木)
GK FHB FW

崎木瀬 本川川藤山口
岡) 崎木瀬 本川川藤山口

静岡鈴瀬 山黒吉(加亀山) 林
14 18 1
シュート 18
反 7
ゴール 39

◇前半静岡の速攻はよかったが、水海道、バックスの厚いカベを破れなかった。水海道は前半2分滝川、11分田村のシュートでリードした。後半静岡は3分に吉川がシュート、7分にも吉川が7メートル・スローを決めて追いついた。その後水海道はスピードがなかったが、ポストプレーが成功して8分川田、10分渡辺(これはGKのミスに恵まれた)のシュートで静岡をふり切った。

とにかくおもしろいゲームだった。両チームともベストをつくし、息を抜くヒマがないほどの熱戦。城北は前半もう少し慎重に攻めていたら無得点に終ることはなかったろう。同じ2点差でも点を取っての2点差ならそれほどあわてなくてもいい。それが1点もとれなかったところに静岡のあせりがあった。名門同士の対戦にふさわしいゲームといってもいいのではないか。

馬場副会長の「私とスポーツ」

日刊スポーツ大阪版の連載読物「私とスポーツ」の欄に馬場太郎副会長が短文を寄せた(12月12日付け)。それを要約すると次のようなものである。「私が丸亀中学に入学したのは大正三年。部としてこの学校にあったのは柔道、剣道、銃剣道、野球、庭球、ボートの六種目で、庭球部には大先輩の津島寿一さん(東京オリンピック組織委員長)がいた。野球をやっていた関係で四年生のとき野球ボールの遠投競技があった。そして90メートル以上投げて優勝した。日本体育会体操学校(現在の日体大)に進学してから重量あげ、ハンドボールに興味を持ち、野球はやめた。現在は全日本学生重量あげ協会副会長。日本ハンドボール協会副会長であり、微力ながら普及に力を注いでいる」



ベテランぞろいの大崎電気

一般 男子

大崎電気が待望の優勝を上げた。チーム結成後まだヨチヨチ歩きの大崎電気が全日本総合で2位、国体1位の抜群の成績は実にみごとである。決勝で昨年熊本国体の優勝チーム桜丘会を破ったのだから文句のいい方がない。しかし大崎電気の選手をみると優勝は決して不思議ではない。世界選手権に出場した竹野以下宮原(藤)、田口、村上、福本、今野のベテランぞろいである。ようやく「大崎電気の天下」が訪れたのだ。速攻では芝浦工大と比べて甲乙ない。別表のシュート率をみてみるとシュート128、得点55、率・43.0の高率をあげている。とくに決勝の桜丘会戦ではシュート41、得点18、桜丘会よりもシュート成功率は下回っているが、シュート数では桜丘会を押えている。これが優勝につながった。とくにエース竹野は4試合、シュート50、得点24、シュート率・48.0の高率をマークし、第一人者の貫録十分である。桜丘会戦では大

桜丘会しのぐ

若さの大洋デパート

大崎電気は惜しくも2連勝を逸したが、クラブチームとしては最高のものである。大崎電気は劣らぬ力をもっている。エース高村、山田、服部の世界選手権組をはじめ浅野、牧野、豊島、堀のベテランがそろっている。桜丘会の宇津野君は「決勝で負けたのは竹野と高村の差、練習量の差です」といっているように、練習量の差がすべてだった。高村は竹野に次いでシュート成功率・43.6をマークしている。チームのシュート成功率をみて大崎電気をはるかに上回っている。決勝戦だけを例にとってみても大崎電気よりいい。それにもかかわらず敗れたのは練習量の差というほかはない。これはクラブチームの宿命でもある。とはいってもこのクラブチームが毎年決勝に進むというのはやはりつば

なものである。大崎電気の得点18のうちひとり9点をあげ、大崎に優勝をもたらした。竹野がこのすばらしい成績をあげられたのはCF宮原(藤)のカゲの力が大きい。そればかりではない、小谷内、杉山、井上とのコンビがよかったからである。FWの総合戦力もあるが、バックスの活躍もまたすばらしかった。

▽：桜丘会は惜しくも2連勝を逸したが、クラブチームとしては最高のものである。大崎電気は劣らぬ力をもっている。エース高村、山田、服部の世界選手権組をはじめ浅野、牧野、豊島、堀のベテランがそろっている。桜丘会の宇津野君は「決勝で負けたのは竹野と高村の差、練習量の差です」といっているように、練習量の差がすべてだった。高村は竹野に次いでシュート成功率・43.6をマークしている。チームのシュート成功率をみて大崎電気をはるかに上回っている。決勝戦だけを例にとってみても大崎電気よりいい。それにもかかわらず敗れたのは練習量の差というほかはない。これはクラブチームの宿命でもある。とはいってもこのクラブチームが毎年決勝に進むというのはやはりつば

シュート成功率

	大崎電気			桜丘会		
	シュート	得点	率	シュート	得点	率
決勝	41	18	.439	29	13	.448
準決勝	30	11	.367	27	12	.444
準々決勝	27	12	.324	27	14	.519
準決勝	30	14	.467	35	18	.514
計	128	55	.430	118	57	.483
	竹野			高村		
決勝	18	9	.500	6	3	.500
準決勝	13	6	.462	10	4	.400
準々決勝	7	2	.286	9	4	.444
準決勝	12	7	.583	14	6	.429
計	50	24	.480	39	17	.436

期待はずれの全神奈川

▽：大阪クラブは関西学連の現役、OBのクラブチームだが、準決勝で大崎電気を苦しめたのはすばらしかった。前半6-1と1点差で食い下がりが、後半互角の勝負をいどんだ。文字どおりの善戦であり、「大崎電気辛勝」の方がピッタリすぎるくらい。

井上(日体大出)をはじめ市場、村中、莊林、東の好技が見のがせない。氷見クラブの善戦も光った。高校出のチームでありながら、ベスト4に残ったのはお

楽しみのもてる日体大

一般 女子

予想どおり愛知紡と熊本大洋デパートが決勝で顔を合わせた。期待はこの決勝も愛知紡のワンサイドに終り2連勝した。若さの大洋デパート対ベテランの愛知紡、結局は実業団チームとして長い歴史を持つ愛知紡が、八月の全日本総合に次いで二度までも大洋を押えた。沢田、青木、磯部の好プレーヤーがスピードのつためざましい活躍が勝因である。大洋デパートは名手といわれる関の欠場で攻撃力が半減したのは痛かった。西村、徳永、久連松の若手トリオががんばったが、愛知紡の前に屈した。この決勝戦だけをみると、やはりそこには力の差が大きくひそんでいた。しかし愛知紡には年令的なハンデキャップがあり、いまが絶頂期である。これに対して大洋デパートはこれからのチームである。来シーズンは女子実業団の分布図が大きくぬり替え

られるのではなからうか。
▽：日体大がよくやった。準決勝で愛知紡を苦しめたが力及ばず敗れた。前半4ト3とリードしたときは実にすばらしかった。結局はランパスのまさきで愛知ゴールに殺到できなかったのがつまずきの因となった。大いに楽しみの持てるチームである。一般女子はこの三チームを除くとそれほどこわいチームはいない。3位になった大阪クラブは大西姉妹の奮闘がめだった。

中京商実力やはりNO.1

高校 優勝候補の筆頭で連勝をめぐす中京商が準々決勝で桐生工に敗れる番狂わせがあった。当日は雨上がりでグラウンドは水浸し、ちょうど田んぼの中でゲームをやっているような状態だった。このため中京商は得意の速攻が全く出ず、桐生工の善戦で苦しいゲームを続けた。スコアは4-3と1点差、桐生工はドロシコ試合で幸運な勝利をつかんだといっている。

優勝した兵庫工はチャンスをやまくつかむと速攻をかけて得点した。それに早いアタックで相手の出足を止め、カットインプレーの連続だった。このフアイトが優勝に結びついた。かなりスピードを持ち、それによく走り回った。とくに畑田のコントロールのいいシュート、山本の正確なシュートはすばらしいものがあった。勝つべくして勝ったといえる。
▽：2位の盛岡第一は準決勝で桐生工を

大崎、練習量で

絶頂期の愛知紡

7-1の大差で破った。坂口(貞)、坂口(登志)、田代、春木、大下のFW五人男は脚力があり、ここまでやるとは思わなかった。それが一試合ごとにピッチをあげ、決勝戦まで勝ち進んでしまった。これは努力の現われであろう。墨田川がチーム結成らしい全国大会で初めてベスト4に残った。東京の

レベルは全国的にみてかなり低い、関東選手権で優勝していらしい大いに自信をつけた。北井、今井、重本、松田、本望のFWは体力があり、なかなかたのしい。とくに北井は伸びる素質が十分ある。墨田川がここまでできたのは松本先生(教大出)の力に負うところが大きい。

▽：桐生工は小柄だが、うま味のあるチームだ。中京商を破り、墨田川と引き分けて3位になったのはほめていい。下関幡生工、函館工はいま一步というところで敗れたが、好感の持てるチームだ。
▽：この大会でベスト4に東日本が3チーム、西日本が1チームの数字が出た。東日本のレベルが大幅に伸びてきたことを証明するものだ。不幸にして中京商は準々決勝で姿を消したが、絶好のコンデ

ションだったら中京商は決勝戦まで進んでいたかもしれない。力はやはりNO.1といってもいいのではないか。

光る秋田和洋女の善戦

高校女子

ベスト4に静岡城北、秋田和洋女、北海道第二、富山女が残ったが、力の点では静岡城北、北海道第二がずば抜けていた。しかも名門同士である。攻撃力、守備力とも差がなく、その日の出来ひとつにかかっていた。北海道の滝川、田村、城北の吉川、山本はよくがんばった。城北は東海子選で半田(愛知)を破っての出場であり実力はある。北海道も城北に劣らぬ力があり、決勝戦は1点差を争う好ゲームを展開した。

▽：秋田和洋女がベストに残るとは思わなかった。地元の利もあるが、準決勝で静岡城北を圧倒し、九分九厘まで握った勝利を惜しくものがして延長戦となった。城北と延長戦をやるほどの力があったのには驚いた。東北予選で名門涌谷(宮城)を破り、東北選手権を獲得している。FWの信太は優秀なプレーヤーだ。来シーズンには実業団チームの一員として活躍するだろう。

▽：菊池農蚕(熊本)が準々決勝で富山女に9-4と差をつけられて敗れたのは番狂わせ。熊本市立高を倒すほどの力を持ちながら惜しい敗戦だった。富山女は有磯高(富山)というライバルを持ち、練習に練習を重ねての出場であり、みごとな試合をみせた。

こぼれ話

いくら親友でも勝負はゆずれぬ

▽：湯沢の高校男子のベスト4に盛岡一高と墨田川高が残った。本部席には墨田川高の松本先生と岩手県体育課の箱崎先生(最近まで盛岡一高に勤務)ががんばっている。このふたりは教育大の現役当時は竹馬の友だった。若崎審判員が「墨田川と盛岡一高が決勝で対戦したら、いったいどういふことになるんだ」と早くも心配顔。松本先生いわく「そりや墨田川が勝つさ年期の入れ方が違う」。箱崎先生も負けずに「やってみなけりやわからんよ。いくら親友でもこればかりはネ」。結局墨田川が準決勝で負けたので松本先生は「ケンカせずすんだ。でもほんとうは墨田川一高で決勝戦をやりたいかった」。

▽：女子高校の秋田和洋女は地元の応援で健闘した。本部席にいた中沢審判(安浦工OB大)も大いに声援した。それもそのはず。中沢君はこの二、三年ヒマをみては秋田和洋女をコーチし、やっと念願の国体に出場、しかもベスト4に残った。「ほんとうによかった。でもこれで満足はしていない。やはりインターハイで全国優勝しなけりやだめだ。この願いはかならず達成させてみせます」ともすこい張り切り方。

▽……女子実業団は愛知紡、レナウン工業、熊本大洋デパート、大崎電気の4チームはすでにご存じのことだが、37年春にはまた2チームが生れる。それはレナウン工業が立川工場（東京都立川市）と大阪工場（大阪市）にチームをつくる。すでに立川工場の監督には芝浦工大の池田マネージャー（37年3月卒業）が内定し、大阪工場は寝屋川高校の中出先生が一年間面倒をみることになっている。そうすると37年4月には東京3、愛知1、大阪1、熊本1の女子実業団チームになる。東京に3チームできたのは大崎電気の渡辺社長の努力によるものだが、「3チームでは不便だから、ぜひ4チームにしたい」と張り切っている。その1チームの白羽の矢が「ニューキ・ミシン」に当てられ、レナウン工業の鈴木さんの力を借りてニューキ・ミシンの社長の説得にかかっている。渡辺さんは「4チームになれば関東女子実業団リーグ戦ができる。これが楽しみです。春と秋、二回のリーグ戦で女子のレベルを高めたい」と希望はなかなか大きい。

▽……女子実業団チーム結成の内情をくわしく書くと、大崎電気の渡辺社長から叱られるが……。東京に女子チームが3チーム、ニューキ・ミシンが参加すると4チームになる。いったい選手はどこから集めるのか。いろいろ調べてみたら水

戦 隊 の スカウト クラス トップ

第八回 帖 書 楽 =

治 武 尾 駕

▽……日体大が韓国に遠征した。協会創立らしい全日本チームの世界選手権参加に次いで二度目である。韓国には日体大のOBが多いので、特に日体大を招待したものである。海外遠征に恵まれなかっただけに、こんどの遠征はうれしいニュースだ。しかも招待先が隣の韓国だからなおさらのことである。日韓交渉が行きつまってるときだけに、スポーツチームの訪韓はホットニュース。ただ遠征中に関東学生リーグ戦があり、二軍チームが出場し善戦していたのは立派だ。リーグ戦も大事だが、海外遠征も大事。日体大は選手の数が少ないから「二足のワラジ」をはいたわけである。海外遠征してどどん力をつけるのが、オリンピック種目になる近道だと思ふ。

▽……関東学生リーグ戦に日大が加盟し、さらに女子の部が復活。日体大と日女体短大の2チームだが、よくここまできたと感心する。

海道第二、栃木女、静岡城北、有磯（富山）、富士宮（静岡）、秋田和洋、山梨、太田第二（茨城）と広い地域にわたっている。なかでも水海道第二、栃木女、静岡城北の三校は「供給源の御三家」である。パレーボール、バスケ、ハンドボールのスカウトは激しいが、女子ハンドボール界もいまや選手のスカウトではトップクラスとなった。

時 評

▽ハンドボールを全く知らない人が、ハンドボールに首を突っ込むものすごいファンになる。これはハンドボール界にとってはうれしいことである。最近こういう人が増えてきたのはよいことだ。そうしてチームを編成してくれるのだから大したものである。一人でも多く、一チームでも多くなることで球界発展の基盤となる。

それにひきかえ大学出の人にはシロウトほどの情熱がないのは驚く。これはどうしたことか。少なくともハンドボールをやった人なら、高校、大学といわず大いに球界発展のために力を出してほしい。クロウトがなまけ、シロウトが精を出す。これでは全く主客転倒である。

▽シロウトの第一号は大崎電気を生んだ渡辺社長である。この渡辺社長がレナウン工業の鈴木社長を口説き落としてレナウン工業チームをつくらせた。鈴木社長はハンドボールを見たことがないという。しかも大阪工場にもチームを編成させ、来シーズンから球界にお目見えする。九州に眼を向けると大洋デパート（熊本）がそうである。熊本県協会の藤田八郎氏の応援で大洋デパートの山内藤吉氏（人事課長）がチームを編成した。山

よ 起 奮 連 連 O B 大 学

これはシロウトに恥かしい

内さんは「シロウト第三号」ということになる。山内さんは「ハンドボールの発展のためなら大いにやる。とにかくわたしはシロウトだから……」という。大洋デパートの山口社長も「ハンドボールのために……」と大いに気をはいている。この山口社長もハンドボールを知らないのに……。

▽いったいハンドボールをやってきた大学卒の連中はどんな気持ちでいるのだろうか。シロウトに対しては「ずかしいと思わないのだろうか。芝浦工大、日体大、教大のOBはハンドボールのために骨身を惜しまずやっている。名門の早大、慶大、明大、関学、関大のOBたちはもっと奮起してほしい。ただ学生のリーグ戦だけやっていればいいという考え方なのだろうか。自分のスポーツが可愛いくないのだろうか。チームを編成するぐらいの気力が足りないのだろうか。「十一人制では人が集まらない」と理屈をいうかもしれない。それならば七人制でもいいではないか。七人制の方がむしろ人が集まりやすい。このへんではひとつ大いに奮起してもらいたい。

× × × × × × × × × ×

今号も先号に引き続き人物紹介の第二回。長い間待望されていた女子実業団チームが今年は大崎電気、大洋デパート、レナウンと相次いで誕生、女子球界も一段と球趣を盛り上げてきました。そこでスポット・ライトを女子実業団チーム結成に一肌ぬいだレナウン工業の鈴木達雄社長にあててみました。

× ×

——あん蜜の食べ—— 女子実業団にレナウンチームが生まれた。これは大崎電気の渡辺社長がレナウンの鈴木社長を口説き落としましたものである。それで秋田国体が終ってから、鈴木社長にインタビューした。

——女子チームをつくったのはどういう動機からですか。

鈴木 いやー。別になかったのですが、大崎電気の渡辺君が「女子チームをつくれ。とてもイイぜ」なんていうもんだから……。あまり熱心いからそれならというわけです。渡辺君とは五年ぐら前から友人だし、アイツのいうことなら間違いないからですよ。

——そんな話はいつごろから鈴木 ことし(36年)の正月のことだった。

——ところで鈴木さんはハンドボールをご覧になりましたか。鈴木 それがですよ。ことし(36年)一

月の全日本室内総合選手権を見たのが初めてなんです。それもテレビで……。スポーツにはあまり関心がなかったのは事実です。

——チームをつくって、よかったと思いませんか。

鈴木 バレーボールやバスケットボールでは既成チームが多い。ハンドボールは発展途上にあるのいいと思った。それ

どこか眼が違う苦勞した大人



レナウン工業社長

鈴木達雄

にこれからの若い人、男でも女でもスポーツでからだを鍛えることがいちばんいい。勤務が終わって映画をみたり、あん蜜を食べて歩くよりは健全だから……。

☆ ☆ ☆

▽：かくしてレナウン工業チームは誕生し、来春までに東京工場チーム(東京都立川市)大阪工場チーム(大阪市)が名乗りをあげる。鈴木社長は東京生れで横

浜育ち、芳紀(？)まさに51歳。横浜一中——高一東大の秀才コースを歩き東大卒業と同時にレナウンに入社した。当時大卒はサラリー60円(80円の時代)、サラリー28円のレナウンに籍をおいた。レナウンは昔風にいうならメリヤス工場。そのころからスポーツには全く縁がなかったというからこんどのチームづくりには驚いた。しかし勝負ごとは好きで、マ

ンタ」を飛ばした。選手はだまって下を向いた。これをみた鈴木社長は驚き、すぐ塩川君を呼んで注意した。あとで鈴木社長は「ほんとうに驚いたんだ。普通の人ならず文句もいっただろうが、スポーツ選手はやはりどこか違う」とほめていた。これが鈴木社長をハンドボールファンにした理由のひとつでもある。塩川君は「陰の功勞者」かもしれぬ。選手たちは3時ごろから練習にはいる。課長や工場長はいやな顔をするらしいが、これは社長命令(？)だからどうにもならぬ。また鈴木社長は塩川君を監督に迎えたのがよかった。苦勞した人はどこか眼が違ふ。この塩川君も非常に熱心で、インターハイ、全日本総合選手権、国体には最後まで残って優秀な選手をチェックして社長に報告する。大崎電気の渡辺社長が眼をつけた選手は、すでに塩川君が話を進めていたというケースがときどきあった。「鈴木さんはいい監督をさがしたものだ。うらやましい。鈴木さんの人徳だね」と渡辺さんがいう。

▽：最後に鈴木社長の抱負をきいてみる。「当面の敵は大崎電気(女子)ですよ。大崎電気を倒すチームにしたい。そして国体、全日本総合、全日本室内の三大タイトルを獲得するのが夢です」。

× ×

——カゲの功勞—— ▽：性格温順、品のある塩川監督 英国型ジェントルマン、この人がチームをつくってからたった一度だけ驚いたことがある。レナウンチームが日体大に負けたとき、監督の塩川君(芝浦工大出)が選手を集めて「ピ

西軍、速攻で二連勝

全日本学生 東西対抗 東軍同点が精いつばい

に反して速攻の連続、ゴール前のロリング・パスはちょうど東軍のお株を奪った形。東軍バックスはすつかりペースを乱した。東軍FWは持ち前の速攻がみられずもたついていた。7分佐藤が右サイドからそれぞれ決めて2-2と迫っていた。西軍は13分今藤の14メートルスロー、15分荘林のロングシュートで4-1とした。東軍バックスは少しもいいところがない。それに東軍FWはせっかくなボールをキープしても雑なシュートやハンドリングのまずさでチャンスをつぶした。しかも両サイドの攻撃を忘れ、無理に中央から打ったので西軍GK香山の好守にはばまれた。東軍FWはあせりが出て自己のペースを忘れていたようだった。後半4分東軍は羽生田のシュートで三度び6-6と同点にしたが、すぐ今藤にゲットされた。東軍は同点にするのが精いつばいで、とうとうタイムアップまで一度もリードできなかった。北村、佐藤がマークされてはどうすることもできなかった。それに東軍は4本の14メートルスローを佐藤が1本決めていただけで3本ミスをしたのは大ききひびいた。東軍は前後五度びも同点に追いついたが、調子に乗る西軍FWの前に屈した。西軍の勝因はGK香山の水ぎわ立った守備によるところが大きい。逆に東軍は力を十分出し切れず、コンビネーションのまずさをばくろしてしまった。東軍が青木(日体大)、越智(芝浦工大)、小林(日体大)、金山(芝浦工大)の優秀な選手を送り込んでいたら、試合はもっとおもしろかったと思う。

同大の速攻ペースにまきこまれず、また速攻に固執せず、臨機応変に終始したことが前半の4点差をより有効にしていた。

〔技術評〕 攻撃面は多くの大会で身につけた、冴えた個人技を全員むらなく持っている芝工大に一日の長があり、FWのキメの細かい動きはすべて攻撃武器となっていた。同大は前半、今藤にボールを集めすぎたため、後半は作戦をかえ、一応成功はしたが(8-7)前半の失敗をカバーするまでにはいかなかった。

▽防衛面ではやはり芝工大の前進ディフェンスは速攻に対して成功であり、とくに前半今藤のみに頼る同大のペースを完全につぶしてはしたが、しかしGK谷の好守がありはしたが、13点を許したことは、同大の強さをしめす反面、芝工大のディフェンス方法に貴重な資料を与えたことであろう(春季リーグ以来、全日本総合で、桜丘会大崎電気にそれぞれ14点を取られていたのが最高であった)。

るせつかくの速攻もペースに乗らず、ボールのパスがワンタイムイング遅れフォロの出自がディフェンスに食われ、単発の動きでは持てる力の出しようがないといった状態であった。21分芝工大の反則から14メートルスローを得た同大は芝工大GK谷のフライングプレーで今藤の強烈なシュートも右下コーナーに押し寄せられ、4点差とつめる好機を逸した。

▽タイムアップ前10分間の両チームの攻防は一段の活気をみせ、試合に多大の興味を与えた。22分芝工大北村が左60度からのジャンプシュートを左上に放って、15-9とすれば、同大は宮野が好パフォーマンスで左下に10点を上げ、差はいぜん5点。だが同大はどうしても追いつけない。また芝工大の速攻も完調とはいえず、むしろ速攻とも思える動きで、ただシュートチャンスも有効につかみ、確実なシュートが強豪の片鱗をきらめかせていた。

▽24分同大今藤が左サイドから11点目、25分芝工大佐藤が初めての直接フリースローポイントで16点目。27分同大曾根ポストシュートで12点目。直ちに芝工大佐藤右サイドから左コーナーに打ち込んで17-12と追い撃ち、5点差は縮まらない。28分同大4メートルスローを石橋が左下にきめたり、タイムアップ寸前、芝工大越智が18点目をあげて、18-13でゲーム終了。▽後半の得点経過からみても、同大の加點集中時には芝工大も同じように加點し、完調ならずとも、

同大の速攻ペースにまきこまれず、また速攻に固執せず、臨機応変に終始したことが前半の4点差をより有効にしていた。

〔技術評〕 攻撃面は多くの大会で身につけた、冴えた個人技を全員むらなく持っている芝工大に一日の長があり、FWのキメの細かい動きはすべて攻撃武器となっていた。同大は前半、今藤にボールを集めすぎたため、後半は作戦をかえ、一応成功はしたが(8-7)前半の失敗をカバーするまでにはいかなかった。

▽防衛面ではやはり芝工大の前進ディフェンスは速攻に対して成功であり、とくに前半今藤のみに頼る同大のペースを完全につぶしてはしたが、しかしGK谷の好守がありはしたが、13点を許したことは、同大の強さをしめす反面、芝工大のディフェンス方法に貴重な資料を与えたことであろう(春季リーグ以来、全日本総合で、桜丘会大崎電気にそれぞれ14点を取られていたのが最高であった)。

るせつかくの速攻もペースに乗らず、ボールのパスがワンタイムイング遅れフォロの出自がディフェンスに食われ、単発の動きでは持てる力の出しようがないといった状態であった。21分芝工大の反則から14メートルスローを得た同大は芝工大GK谷のフライングプレーで今藤の強烈なシュートも右下コーナーに押し寄せられ、4点差とつめる好機を逸した。

▽タイムアップ前10分間の両チームの攻防は一段の活気をみせ、試合に多大の興味を与えた。22分芝工大北村が左60度からのジャンプシュートを左上に放って、15-9とすれば、同大は宮野が好パフォーマンスで左下に10点を上げ、差はいぜん5点。だが同大はどうしても追いつけない。また芝工大の速攻も完調とはいえず、むしろ速攻とも思える動きで、ただシュートチャンスも有効につかみ、確実なシュートが強豪の片鱗をきらめかせていた。

同大の速攻ペースにまきこまれず、また速攻に固執せず、臨機応変に終始したことが前半の4点差をより有効にしていた。

〔技術評〕 攻撃面は多くの大会で身につけた、冴えた個人技を全員むらなく持っている芝工大に一日の長があり、FWのキメの細かい動きはすべて攻撃武器となっていた。同大は前半、今藤にボールを集めすぎたため、後半は作戦をかえ、一応成功はしたが(8-7)前半の失敗をカバーするまでにはいかなかった。

▽防衛面ではやはり芝工大の前進ディフェンスは速攻に対して成功であり、とくに前半今藤のみに頼る同大のペースを完全につぶしてはしたが、しかしGK谷の好守がありはしたが、13点を許したことは、同大の強さをしめす反面、芝工大のディフェンス方法に貴重な資料を与えたことであろう(春季リーグ以来、全日本総合で、桜丘会大崎電気にそれぞれ14点を取られていたのが最高であった)。

るせつかくの速攻もペースに乗らず、ボールのパスがワンタイムイング遅れフォロの出自がディフェンスに食われ、単発の動きでは持てる力の出しようがないといった状態であった。21分芝工大の反則から14メートルスローを得た同大は芝工大GK谷のフライングプレーで今藤の強烈なシュートも右下コーナーに押し寄せられ、4点差とつめる好機を逸した。

▽タイムアップ前10分間の両チームの攻防は一段の活気をみせ、試合に多大の興味を与えた。22分芝工大北村が左60度からのジャンプシュートを左上に放って、15-9とすれば、同大は宮野が好パフォーマンスで左下に10点を上げ、差はいぜん5点。だが同大はどうしても追いつけない。また芝工大の速攻も完調とはいえず、むしろ速攻とも思える動きで、ただシュートチャンスも有効につかみ、確実なシュートが強豪の片鱗をきらめかせていた。

るせつかくの速攻もペースに乗らず、ボールのパスがワンタイムイング遅れフォロの出自がディフェンスに食われ、単発の動きでは持てる力の出しようがないといった状態であった。21分芝工大の反則から14メートルスローを得た同大は芝工大GK谷のフライングプレーで今藤の強烈なシュートも右下コーナーに押し寄せられ、4点差とつめる好機を逸した。

▽タイムアップ前10分間の両チームの攻防は一段の活気をみせ、試合に多大の興味を与えた。22分芝工大北村が左60度からのジャンプシュートを左上に放って、15-9とすれば、同大は宮野が好パフォーマンスで左下に10点を上げ、差はいぜん5点。だが同大はどうしても追いつけない。また芝工大の速攻も完調とはいえず、むしろ速攻とも思える動きで、ただシュートチャンスも有効につかみ、確実なシュートが強豪の片鱗をきらめかせていた。

(岡村)

回数	開催年	スコア	場所	学生王座成績一覧表
第1回	昭和32年	芝浦21-11	関学	球サ場
2回	33年	関学12-10	芝浦	野川
3回	34年	芝浦24-17	関学	小川
4回	35年	関学12-11	芝浦	石カ
5回	36年	芝浦18-13	同志社	

(優勝 芝浦工大3回 関学2回)

回数	開催年	スコア	場所	東西対抗成績一覧表
第1回	昭和23年	東西7-4	宮西	宮西
2	24	西4-3	宮西	宮西
3	25	西10-10	宮西	宮西
4	26	西10-5	宮西	宮西
5	27	西10-6	宮西	宮西
6	28	西12-10	宮西	宮西
7	29	西14-9	宮西	宮西
8	30	西17-7	宮西	宮西
9	34	西18-16	宮西	宮西
10	35	西19-17	宮西	宮西
11	36	西14-10	宮西	宮西

(通算 西軍6勝 東軍5勝)

位置	選手名	所属	得点
GK	香山	香山	0
FB	香山	香山	0
HB	香山	香山	0
FW	香山	香山	0
Sub	香山	香山	0

に反して速攻の連続、ゴール前のロリング・パスはちょうど東軍のお株を奪った形。東軍バックスはすつかりペースを乱した。東軍FWは持ち前の速攻がみられずもたついていた。7分佐藤が右サイドからそれぞれ決めて2-2と迫っていた。西軍は13分今藤の14メートルスロー、15分荘林のロングシュートで4-1とした。東軍バックスは少しもいいところがない。それに東軍FWはせっかくなボールをキープしても雑なシュートやハンドリングのまずさでチャンスをつぶした。しかも両サイドの攻撃を忘れ、無理に中央から打ったので西軍GK香山の好守にはばまれた。東軍FWはあせりが出て自己のペースを忘れていたようだった。後半4分東軍は羽生田のシュートで三度び6-6と同点にしたが、すぐ今藤にゲットされた。東軍は同点にするのが精いつばいで、とうとうタイムアップまで一度もリードできなかった。北村、佐藤がマークされてはどうすることもできなかった。それに東軍は4本の14メートルスローを佐藤が1本決めていただけで3本ミスをしたのは大ききひびいた。東軍は前後五度びも同点に追いついたが、調子に乗る西軍FWの前に屈した。西軍の勝因はGK香山の水ぎわ立った守備によるところが大きい。逆に東軍は力を十分出し切れず、コンビネーションのまずさをばくろしてしまった。東軍が青木(日体大)、越智(芝浦工大)、小林(日体大)、金山(芝浦工大)の優秀な選手を送り込んでいたら、試合はもっとおもしろかったと思う。

芝工大の独走に終わる

関東学生 明大、春につづいて二位 秋季リーグ

三十六年度関東学生秋季リーグ戦は10月8日、新加盟の日大、再開女子リーグの日体大女子、日女体短大を加えて駒沢ハンドボール競技場で開幕。途中雨天で一部日程変更があったが、各校とも慎重ながらも精根尽しての健闘をみせ、内容豊かなゲームを展開した。

リーグ中盤韓国遠征した日体大も二軍チームが大活躍し、秋に弱いとされた明大も、このシントクスを破って芝工大と優勝を争った。春季7位の中大が奮起して3位に躍進するなど面白味を倍増したリーグで11月5日幕を閉じた。

結局一部では芝工大が春以来一層みがきがかかり、安定した試合ぶりで7戦全勝、9シーズン連続、10度目の優勝。二部は健闘の東大が教大と同率首位の座を握った。女子では日体大が圧倒的に強く三勝したが、一戦ごとに差をつめた日女体短大の上達が注目された。

▼第一部 ▲
▽第一日(10月8日)
芝工大 26 (13|13|6) 9 慶 大

中	大	13	(4 9 8)	11	早	大
明	大	15	(7 7 3)	9	法	大
日体大	14	(3 11 9)	12	立	大	大
早	大	14	(8 6 2)	6	慶	大
芝工大	11	(5 6 4)	6	中	大	大
明	大	11	(6 5 3)	7	法	大
日体大	19	(12 7 4)	7	立	大	大
明	大	9	(3 6 5)	6	中	大
早	大	16	(7 9 2)	9	立	大
芝工大	9	(4 5 1)	4	法	大	大
慶	大	7	(2 5 1)	2	日体大	大
芝工大	24	(10 28)	2	日体大	大	大
明	大	12	(6 6 2)	10	早	大
中	大	13	(9 4 5)	9	立	大
法	大	12	(3 9 6)	11	慶	大
中	大	13	(9 9 4)	11	立	大
明	大	12	(6 6 8)	10	早	大
芝工大	18	(9 9 5)	8	早	大	大
明	大	17	(6 11 5)	13	日体大	大
立	大	17	(8 9 4)	9	法	大
中	大	10	(8 2 3)	3	慶	大
芝工大	17	(8 2 0)	3	慶	大	大
明	大	17	(8 9 5)	16	立	大
早	大	15	(6 9 8)	14	日体大	大
芝工大	22	(12 10 2)	10	明	大	大
早	大	15	(6 9 8)	14	日体大	大
芝工大	19	(9 10 3)	8	立	大	大
芝工大	19	(9 10 3)	8	立	大	大
芝工大	19	(9 10 3)	8	立	大	大
芝工大	19	(9 10 3)	8	立	大	大
芝工大	19	(9 10 3)	8	立	大	大

防衛大	16	(9 7 5)	2	日	大	大
学芸大	20	(10 10 4)	6	茨城大	大	大
教育大	20	(12 8 0)	3	千工大	大	大
順天大	20	(不戦勝)	0	武工大	大	大
東大	17	(9 8 5)	9	日	大	大
学芸大	22	(7 15 2)	6	武工大	大	大
教育大	15	(不戦勝)	0	茨城大	大	大
順天大	15	(8 7 4)	11	防	大	大
学芸大	13	(6 7 4)	10	順天大	大	大
茨城大	12	(5 7 3)	11	防	大	大
東大	20	(12 8 0)	4	千工大	大	大
日	12	(6 6 4)	11	武工大	大	大
茨城大	15	(4 11 6)	14	千工大	大	大
順天大	9	(2 0 3)	7	日	大	大
東大	10	(5 5 1)	4	学芸大	大	大
教大	3	(1 2 0)	2	防	大	大
防衛大	13	(8 5 4)	9	学芸大	大	大
順天大	19	(11 8 5)	8	茨城大	大	大
千工大	16	(8 8 3)	12	武工大	大	大
教大	11	(4 7 3)	4	東	大	大
教大	11	(4 7 3)	4	東	大	大
順天大	21	(12 9 1)	4	日女体短	大	大
日体大	15	(8 7 4)	7	日女体短	大	大
日体大	12	(6 6 3)	8	日女体短	大	大
順天大	15	(7 10 2)	3	日	大	大
学芸大	22	(11 11 2)	9	千工大	大	大
防	12	(6 6 3)	5	武工大	大	大
東大	12	(6 6 2)	5	武工大	大	大
千工大	16	(7 9 8)	10	日	大	大
茨城大	13	(6 7 1)	4	武工大	大	大
学芸大	12	(4 8 6)	10	教大	大	大
二部一位決定戦	16	(6 10 3)	11	東大	大	大
女子	16	(6 10 3)	11	東大	大	大
第一日	16	(6 10 3)	11	東大	大	大
第一日	21	(9 12 1)	4	日女体短	大	大
第二日	15	(8 7 4)	7	日女体短	大	大
第三日	15	(8 7 4)	7	日女体短	大	大
第六日	23	(11 12 4)	7	日	大	大
第六日	23	(11 12 4)	7	日	大	大
第六日	23	(11 12 4)	7	日	大	大

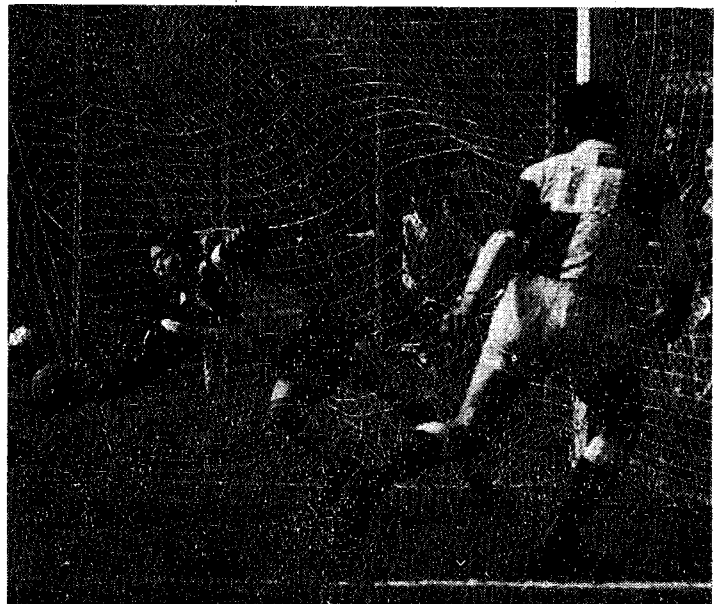
優勝 日体大 3勝0敗
二位 日女体短大 0勝3敗
▽男子一、二部入替戦

順位	部	勝	敗	率	勝	敗	率
①	芝工大	7	5	0.583	1	0	1.000
②	明中大	6	5	0.545	1	0	1.000
③	早慶大	5	4	0.556	1	0	1.000
④	日体大	4	2	0.667	1	0	1.000
⑤	芝工大	4	2	0.667	1	0	1.000
⑥	明中大	3	5	0.375	1	0	1.000
⑦	早慶大	2	2	0.500	1	0	1.000
⑧	日体大	1	1	0.500	1	0	1.000

た成果である。この明大とともに賞されてよいのが中大である。春は大脇一人のプレーで他がそれについて行けず、個々のプレーに走り、低調そのものだった。今季はみごと立ち直り、大脇石井らの早い動きに合うFWができた。このFWに福土、青砥らの守備陣がよく応え最低失点におさえたのが上位いくこみの原因となった。とくに強豪早大との初日の試合はスタートから圧倒的に押しまくり、出鼻をくじき、勝星をあげたがその試合ぶりそのまま日程の全般に行き渡った。この中大に出足をさわられた早大は決して実力が落ちたわけではなく、むしろ円熟さを思わせた。恵谷一人にたよりがちのチームが、森岡、中尾、平塚あたりが上達し、長沢のプレーが非常に積極的となりしばしば好プレーをみせた。それにもかかわらず明大、中大の軍門に降らざるを得なかったのは精神的にも体力的にも躍進した両チームの努力を認めざるを得なかった結果のような気がする。芝工、明大、中大、早大の四者が今季リーグの上位陣といえようし、実力も接近したものであった。この四者から抜き出、優勝した芝工大は昨年までの小粒からぬげ大型化しオーソドックスな大きな動きから危げなく勝星をあげた。これもインカレのころぶつかったコンピ上の壁をよくつきやぶ

りムダな動きの少くなった、FW佐藤、北村の好リードと積極性がめだちFW全体がまとまりをみせ安定してきたこと。そして勝負、久保、斎藤のデフェンス、センタースリーが非常にうまい動きをみせ、GK谷の上達とあいまって試合の山場、山場をよくしめくった。やはり実力NO.1のチームであったといえよう。特に芝浦打倒を目標に食いさがった明大、早大との試合は相手を完全に自己のペースに巻きこみ大きくリード、乗ずるスキを与えず押し切ったあたり見事な勝ちっぷりであった。

この上位陣を何んとか一あわぶかせようと頑張ったのが慶大、立大、法大。この三者ともいづれもまだ若い選手が多く、何か試合ぶりそのものにムラがあり、若さを思わせることが多かった。この選手達がこれからどれだけ成長するか今後の上位進出の可否がかかっている。慶大の諏訪、堤、阿部、橋本、立大の小野、中根、江名、法大の吉村、西村、田口等がそうであり印象に残った。韓国遠征で上位陣突入を計れなかった日体大は出発前法大との試合で、これはと思わせたが、韓国遠征戦では相手レベルが低く、帰国後調子をとり戻せず、かえって強豪明大、早大の試合では相手の早いパスワーク、試合運びにとまどったような所が見受けられた。主将青



優勝を争う芝工大—明大戦。芝工大 福島のスュート明大板尾の好守にはま

木一人の健闘ではどうにもならず連敗し不運でもあり、気の毒であった。二部では教大、東大、学芸大、順天大、防大などが上位陣で、レベルもほぼ同じで覇を争った。それだけに連日互につぶしあいの激しい試合となった。

春の一部の教大は二部におちたが入替戦にも勝てず二部にとどまった。学芸大が東京地区の国立大学大会で教育大を破って断然自信をもち秋のリーグにも教大に快勝したと、東大、茨大がチーム力で大いに活躍したことは特筆に価する。またスポーツ界の名門日大が新に加盟したことは喜ばしいことだ。また部員は殆んど素人ばかりだが加盟早々二部で一つの白星をあげたことを加え部員も約三十人もおり、張切っているのだから春からの活躍が期待される。終りに、一部全チームを通して、一寸荒いプレーが目立ち、もつとフェアにそして荒らさよりそれを技術でカバーするべく努力して欲しいと願っておく。(中沢)

同志社大が四度目の優勝

関西学生 関大、没収試合で涙のむ

三十六年度関西学生秋季リーグ戦は10月15日から11月12日まで一部は西宮第二球技場、二部は大坂学芸大池田分校で行なわれた。一部は同志社、関大、関学、神大のビッグ・4の間で優勝が争われたが、第六日に関学が関大に敗れ、同志社大が神大に大勝した。このため同志社大は最終日の関大戦を待たずに6戦6勝で31年春らしい11シーズンぶりに四度目の優勝をとげた。秋季リーグ戦の優勝は戦後の二十三年から三十五年まで関学のひとり舞台だったが、こんど初めて同志社大の優勝となった。二部は立命大が6勝0敗で優勝した。

▼一部 ▲

▽第一日 (10月21日)	京大 12 (5-4)	神大 9	同志社大 12 (4-4)	関大 16 (8-4)	関学 13 (7-4)	神大 15 (9-3)	関大 12 (6-4)	関学 9 (6-3)	神大 15 (9-3)	関大 12 (6-4)	関学 9 (6-3)
▽第二日 (10月22日)	京大 12 (5-4)	神大 9	同志社大 12 (4-4)	関大 16 (8-4)	関学 13 (7-4)	神大 15 (9-3)	関大 12 (6-4)	関学 9 (6-3)	神大 15 (9-3)	関大 12 (6-4)	関学 9 (6-3)
▽第三日 (10月31日)	京大 12 (5-4)	神大 9	同志社大 12 (4-4)	関大 16 (8-4)	関学 13 (7-4)	神大 15 (9-3)	関大 12 (6-4)	関学 9 (6-3)	神大 15 (9-3)	関大 12 (6-4)	関学 9 (6-3)

同志社大 9 (3-6)	京大 6	大府大 7 (2-0)	甲南大 4 (1-1)	神大 8 (3-5)	関大 10 (4-6)	甲南大 11 (6-5)	同志社大 15 (9-6)	関学 8 (4-4)	神大 9 (5-4)	関大 15 (9-6)	京大 13 (7-3)	同志社大 12 (4-8)	桃山大 11 (5-6)	同志社大 13 (9-4)	桃山大 12 (5-7)	同志社大 13 (9-4)	京大 13 (7-3)	同志社大 12 (4-8)	京大 13 (7-3)	同志社大 12 (4-8)
--------------	------	-------------	-------------	------------	-------------	--------------	---------------	------------	------------	-------------	-------------	---------------	--------------	---------------	--------------	---------------	-------------	---------------	-------------	---------------

優勝チーム

	(春)	(秋)
23	関学	関学
24	〃	〃
25	〃	〃
26	〃	〃
27	同志社大	〃
28	関学	〃
29	同志社大	〃
30	関学	〃
31	同志社大	〃
32	関学	〃
33	〃	〃
34	〃	〃
35	〃	〃
36	関大	同志社大

▽最終日 (11月12日)	京大 20 (13-7)	同志社大 21 (8-13)	関大 12 (4-8)	桃山大 11 (5-6)	同志社大 13 (9-4)	桃山大 12 (5-7)	同志社大 13 (9-4)	京大 13 (7-3)	同志社大 12 (4-8)	京大 13 (7-3)	同志社大 12 (4-8)
---------------	--------------	----------------	-------------	--------------	---------------	--------------	---------------	-------------	---------------	-------------	---------------

関西学生秋季リーグ勝敗表

順位	(1部)	同志社大	関学	神大	京大	甲南大	桃山大	府大	勝	率
①	同志社大	●	○	○	○	○	○	○	6	.857
②	同志社大	○	●	○	○	○	○	○	5	.714
③	同志社大	○	○	●	○	○	○	○	5	.714
④	同志社大	○	○	○	●	○	○	○	4	.571
⑤	同志社大	○	○	○	○	●	○	○	3	.429
⑥	同志社大	○	○	○	○	○	●	○	2	.286
⑦	同志社大	○	○	○	○	○	○	●	2	.286
⑧	同志社大	○	○	○	○	○	○	○	1	.147

順位	(2部)	同志社大	関学	神大	京大	甲南大	桃山大	府大	勝	率
①	同志社大	●	○	○	○	○	○	○	15	.857
②	同志社大	○	●	○	○	○	○	○	9	.714
③	同志社大	○	○	●	○	○	○	○	6	.571
④	同志社大	○	○	○	●	○	○	○	5	.429
⑤	同志社大	○	○	○	○	●	○	○	4	.286
⑥	同志社大	○	○	○	○	○	●	○	3	.214
⑦	同志社大	○	○	○	○	○	○	●	2	.147

スタートの悪い神大

(評) リーグ戦前の予想は同志社大が圧倒的に強く、この両チームから優勝というのが常識だった。ところがリーグ戦第二日に関大が甲南大を12-6と一方的に破ったが、未登録選手出場のため没収試合となった。第三日の神大戦には前半リードされて1点差で2敗を喫した。これで関大は完全に優勝圏外へ去った。最終日に同志社を破っているだけに甲南大の没

収試合は痛かった。

同志社は順風満帆、第六日の対神大戦に大勝して四度目の優勝をとげた。春は惜しいところで神大と引き分け、関学に1点差で敗れて優勝を逸したが、関西学生界ではFWバックスともすぐれ実力NO1である。FWは今藤を中心によく走り、バックスも激しいアタックをみせていた。前後半を通じてスピードがあり、相手のディフェンスを前におびきよせてからサイド攻撃に移るあたりは大したもの、ことに今藤のコントロールあるシュートは印象に残った。ただ最終日の関大戦で力を落としていたのはどうもいただけない。

▽関大は高村のプレーがよかったさすがに世界選手権大会に出場しただけあって、水きわ立ったプレーをみせた。とくにジャンプ・シューティングは他の選手には絶対まねがきないほどである。この高村は各チームから徹底的にマークされたが、それでもチャンスには確実にポイントをおげていた。没収試合さうな。名門の関学は春に次いで相変らず不振である。渡辺監督、深江コーチと恵まれていながらあまりパットせず、神大に8-7、桃山大に7-5と少差で勝つ始末である。関学のプレーにはスピードがなかった。それが不振の大きな原因だ。秋季リーグの一部に昇格された桃山学院大が2勝しては賞をねらうチームである。神大は第一戦で京大に敗れたのは意外だったが、春のリーグ戦でも第一戦に甲南大に8-7と1点差で敗れている。どうもスタートの悪いチーム、これさえなければ優勝できる。

1 全日本チーム、初の欧州遠征と世界選手権(七人制)大会参加

3月1日から西独の各都市で開かれ、日本はルーマニア、チェコのグループ(C組)に出場、チェコに38-10、ルーマニアに29-11でもに敗れた。しかしその後の親善試合で活躍し、世界選手権の2敗を含め初の海外遠征で25戦13勝10敗2引き分けの好成績を残した。フランス、ドイツ、チェコ、イスラエルの四方国を回り、本場のハンドボールを身につけたのは大きな収穫であった。

2 東京五輪大会の開催種目から除外

昭和三十四年五月、ミュンヘンで開催された第55回国際オリンピック委員会(IOC総会)で昭和三十八年(1964年)の第18回オリンピック大会が東京都と決定した。このときハンドボールの開催が約束された。ところが三十五年十二月二十二日の東京オリンピック

ク大会組織委員会で二十二種目案を一気に十八種目とし、ハンドボールは除外された。つづいて三十八年六月十五日からアテネの第58回国際オリンピック委員会(IOC総会)で22種目について投票し、その結果ハンドボール、カヌー、洋弓が除外、カヌー

参加 世界選手権 初の

1961年のトップニュース



写真は日本チームの遠征を報道したフランスの「フランドル」紙の切抜き

se sont imposés devant une excellente sélection du Lyonnais à l'issue d'un match de haute qualité

El handball a gagné l'honneur de se présenter aux Jeux. Tout du long du jeu, les deux équipes ont été à égalité. Les Japonais ont été très efficaces, ils ont marqué 25 buts. Les Français ont marqué 13 buts. Les Japonais ont gagné 25-13.

Japan 27
Lyonnais 21

Les Japonais ont gagné 25-13.

近代五種競技が返り咲いて東京大会は20種目開催となった。ハンドボール協会は組織委員会の不信をタテに声明書と公開質問状を出した。

3 日体大チームの韓国遠征

10月19日栗本義彦団長(日体大専学長)馬場太郎副団長(協会副会

長、日体大出身、現在桃山学院大監督、荒川清美監督ら一行二十人が出発、韓国各地を転戦し6戦6勝の記録を残して10月31日帰国した。韓国には日体大出身者が多く、ソウル(京城)、大邱で大歓迎を受けた。

4 芝浦工大、三大タイトルを握る

3月に山田、福本、田口、村上尾藤の主力を送り出したが、不断の努力が実を結び、7月の全日本学生(大阪府豊中市)に中大を12-10で破って4連勝した。8月の全日本総合(倉敷市)に大崎電気を17-14で破って3連勝した。

11月の全日本学生王座(東京)でも同志社大を破って三度目の優勝を飾った。

5 中京商、全国高校で3連勝

第十二回大会(7月30日-8月3日、水見市)の準決勝で盛岡第一(岩手)を13-9で破り、決勝でライバルの桜台(愛知)と対戦した。前半6-5とリードされたが後半19分には11-11と追いつきタイムアップ寸前RW深谷(忠)の殊勲のシュートで桜台を押さ3連勝した。(なお秋田国体の準々決勝で桐生工に4-3で敗れる番狂わせがあった)

6 大崎電気(男)、国体で初優勝

チーム結成して二年目に国体で初優勝した。準決勝で大阪クラブを11-10、決勝で名門の桜丘会を18-13で破った。竹野、宮原(藤)田口、福本、今野と世界選手権出場者をそろえ、倉敷の全日本総合では決勝で惜しくも敗れて2位となったが、芝浦工大と同等の力を有し全日本NO.1になる日も近い。

7 愛知紡、全日本総合5連勝、国体2連勝

倉敷の全日本総合の決勝で熊本大洋デパートと延長のすえ8-6で勝ち、秋田団体でも大洋デパートを破った。ベテランの愛知紡

若さの大洋デパートは非常に興味があったが、二度とも大洋デパートを押えたのはさすが。沢田、青木、磯部、塚原、宮本、山崎、篠崎の速攻、好守はみごとだった。

8 関大初優勝(関西学生春季リーグ)

名門関学の不振で優勝した。同大に11-10と1点差で惜敗したが関学を18-16、神戸大を16-13で連破し、6勝1敗で同大(5勝1敗1引き分け)、関学(5勝2敗)を押えた。世界選手権に出場したエース高村の活躍が光った。

9 女子実業団チーム誕生

大崎電気(東京)、レナウン工業(東京)、大洋デパート(熊本)が相次いで名乗りをあげた。大崎電気とレナウンは関東周辺の栃木女、水海道第二、静岡城北、日体大のエースをそろえた。大洋デパートは高校の名門、熊本市立高、菊池農蚕(熊本)の主力を集めた。なかでも大洋デパートは全日本総合2位、国体2位の成績を残した。

10 関東学生リーグに女子リーグ復活

関東学生ハンドボール連盟では今秋から関東学生女子リーグ(七人制)を行なった。日体大と日体短大の二校が参加し、駒沢で三連戦を行ない、日体大が三連勝した。関東での女子学生リーグは昭和二十三年くらい、十三年ぶりの復活である。

ヨーロッパ遠征記

(その二)

世界選手権高島 洌
日本代表監督

欧州遠征レポート

遠征の第二の目的である「この機会にできるだけ多くの国で、数多くのゲームを行って、技術の向上をはかること」については、前号の終りにも少々触れたが、五十四日間(実質)に二十五試合という常識では考えられないスケジュールを承知し、強行した。

このスケジュールには、役員も選手も賛否もごもであったが、それぞれお世話になる数ヶ国に対して、スケジュールは貴方にまかせるといってある以上、当然それに従うべきであるというのが私の考え方であった。

また招いてくれた国々にしても、自国で一試合でも多く試合をさせたいのが人情であらうと考えたからである。

したがって遠征期間中は、総てを試合と試合をかちとることに集中した。厳格な規律と、節制のみが、この強行スケジュールを突破出来る唯一の道と考えたからに外ならない。

このことは、日が経つにつれて漸次一部の役員、選手に負担となり不満となった様子であるが、人間の能力に限界がある以上目的以外の雑事を犠牲にするのが当然であらう。

そのためかどうかは別にして、通算して13勝10敗2引分の成績は、立派なものであると考えているし、又国際公報の日本チームの評価の中でも、「七人制ハンドボールの価値に疑問を持つ者は、日本チームの試合ぶりを見なかつた者である。事実、彼らの現われたところでは、どこにおいても彼等のボールさばきの巧妙さが観衆の感嘆と興味をわかせた。

日本の若い選手は、ものすごく敏しょうであるばかりでなく、彼らはたとえ破れても、その試合を必ず成功にみちびく一種のコミックな要素を試合ぶりのなかにもっている。

世界選手権大会の第一次リーグで、クジ運は不運にも、世界最強の二チームと対戦させた。いかなる楽観的希望も持てなかつた。

しかしドイツの各地方チームとの対戦は日本が得点されるのみでなく、巧妙に得点することを示した。ドイツの著名なプレイヤーであるベルナルド・ケンパは、日本チームにある期間付き添い、ゴッピンゲン・チームをより実行されているフュンゲン法を教えた。そのケンパは、日本チームがヨーロッパチームにどつて、まもなくあなごるべからざる敵手になるだろうと評している。」

シュートの練習をするルーミア選手



日本の女子と比較してみても、身体のよいこと、スピードのあること等が特に印象に残った。この試合終了後、選手団の中で、日本の女子のトップレベルと比べてどうだ

ろう——ということが話題になった。強いもの同志の対戦だから、見た目はさほどでなくとも、相当な開きがある。恐らく男子と同じくらいの差であろう。とする意見と、また一方、いやいや大したことではない。あの程度のスピードやシュート力は日本の女子も十分備えているから、同じ程度と見てよいだろう。とする見方に分れて遂に結論には達せず、結局は「やはり試合をやつてみなければ分らないよ」ということに意見が一致した。しかしながら、この一試合の見学から察知出来る限りの日本女子選手への示唆は、

- 1 スピードを増すこと。
- 2 スピードとは、ボールのスピード、走るスピード、試合運びのスピード等一切を含めたものである。
- 3 いろんなチームでも、ゲームに際してロングシュートを何分の一か使用することは、ハンドボールの原則であるが、国際試合には特に必要性を痛感する。

3 ゴールキーパーは、足だけで下のボールを処理出来るようになること。
(これは前号にて詳述した。)

等であると思う。女子の国際交流も、益々活潑になることが予想される今日、特に女子の指導者、選手諸君の尚一層の研鑽を希望するものである。

チエコスロバキアは、十一人制を廃止し、全部七人制に切り替えていた。理由はどこでも大同小異で、十一人制はサッカーと両立がむづかしいこと、七人制に優るスピードをもつた他の室内スポーツはないこ

辞ばかりであるとは考えられない。各国を廻ってみて、一番強力であると感じられたのは、チエコスロバキアであった。ここでは、ドイツのような理論的なセフトオフェンスはみられなかったが、徹底した力とスピードをたたき込んでいるように見受けられた。チエコスロバキアに到着したその日(三月十八日)に首都プラハで、チエコスロバキア対ルーミアニア(プラハ対ブレスト)の女子の試合があるというので、直ちに見学に行った。これが遠征期間を通じての唯一の女子の国際試合であった訳であるが、試合進行等については、男子と全く同じである。

強いもの同志の対戦だから、見た目はさほどでなくとも、相当な開きがある。恐らく男子と同じくらいの差であろう。とする意見と、また一方、いやいや大したことではない。あの程度のスピードやシュート力は日本の女子も十分備えているから、同じ程度と見てよいだろう。とする見方に分れて遂に結論には達せず、結局は「やはり試合をやつてみなければ分らないよ」ということに意見が一致した。しかしながら、この一試合の見学から察知出来る限りの日本女子選手への示唆は、

- 1 スピードを増すこと。
- 2 スピードとは、ボールのスピード、走るスピード、試合運びのスピード等一切を含めたものである。
- 3 いろんなチームでも、ゲームに際してロングシュートを何分の一か使用することは、ハンドボールの原則であるが、国際試合には特に必要性を痛感する。

3 ゴールキーパーは、足だけで下のボールを処理出来るようになること。
(これは前号にて詳述した。)

等であると思う。女子の国際交流も、益々活潑になることが予想される今日、特に女子の指導者、選手諸君の尚一層の研鑽を希望するものである。

チエコスロバキアは、十一人制を廃止し、全部七人制に切り替えていた。理由はどこでも大同小異で、十一人制はサッカーと両立がむづかしいこと、七人制に優るスピードをもつた他の室内スポーツはないこ

と、等が主な理由であった。七人制に切りかえたといつても、体育館などが完備している訳ではなく、一例を挙げれば「モスト」の体育館などは、恐らく縦三十一〜二米、横十六米ぐらいで、日本ならばこの学校にもあり、とても国際試合などは、と考へがちであるが、そんなことには一向とんちやくなく、堂々と国際試合の会場にしている。「規則には違反していない」ものは、どんなものでもよいというのが、彼等の考へかたであり、この点はわれわれも大いに見習うべきであらう。そのような考え方にたてばハンドボールを行う「広場」は、恐らく現在の何倍かにふえるにちがいない。都会のビルの上にも、或は寒村の鎮守様の庭にも、七人制のゴールが立っている——などと考へるのは、単にわたくしの虫のよい夢なのであらうか。

(つづく)

欧州における 審判の方法

②

日本代表団役員
荒川清美

どちらかのチームが7米スローを取るとスローを行なうチームの一人のフィールドプレイヤーが素早く場外に出る。出ると同時にベンチから一人のプレイヤーが入場、直ちに7米スローの位置につき、シュートが終わると場外に出て、再び交代をするわけ

である。この実例を見てもこの交代は瞬間に行われるので審判に通告している暇などはない。この一例だけでも諒解されることと思う。

これを見たわれわれは欧州においても7米専門のプレイヤーの居ることを知り、これも一つの作戦であることが解ったのである。またフィールドプレイヤーがゴールキーパーになることは日本と同じ解釈であったが、ゴールキーパーの退場の際の処置については異なっていた。

幸か不幸かこのゴールキーパーの退場が大会において、日本対ルーマニア戦に出現われわれはこの実例を見ることが出来た。退場の理由はゴールキーパーが日本の防

御が一人も居らないのでエリヤより出て強いチャージを行ったために課せられた判決である。会場は、日本のゴールキーパーが退場を命じられたので騒然となり、一時

どうなることかと心配し、われわれもゴールキーパーが退場を命じられたのは以後の試合はどうなることかと大変心配をしていた。ところが審判はゴールキーパーの交代を命じ、フィールドプレイヤーの一人を退

場せしめ競技を再開した。勿論日本は六人で競技を行ったが、このような処置をわれわれは知らなかったし、むしろ二分間の退

場であるので退場時間はキーパーなしで試合を継続するかまたは没収試合にもなるのではないかと思案をしていただけにこの

処置は実に意外であり驚きもした。この処置に対して日本のベンチから主将を通じ抗議も出たが、これも受け付けられず試合は続行されたのである。

私としては試合終了と同時に、この処置を正して見ると審判は国際連盟の規約に従って判定をしたまであると言うので翌朝規則書を持参して再び聞き正したのだが前述した通りとの返答であった。

審判がデンマークより選出された審判員であったのでデンマーク式に判定されたのではないかと多少の不信を持ち、両国委員長に正して見ることにしてその場をきり上げた。両国委員長は一九六〇年の国際連盟技術委員会において、ゴールキーパーは常

におらなければならぬ。もしゴールキーパー退場の際はキーパーの交代をなさしめ、フィールドプレイヤーの一人が退場することに決定しているとのことであった。

したがってこの判定はこれに基いて適用されたことが確認されたわけである。この実例を見ても、この問題は理解して

いただけると思う。ベンチにしてもセンターラインを中心に左右に分かれサイドが代われればベンチが代

わり選手交代はこのベンチよりなさるので限定された役員(監督、コーチ)と選手しか入ることが出来ない。ために審判員はこのベンチの監視もおこなならないのである

。ドリブルにおいて日本と異なっているのはカットしてボールが床面に当たってもドリブルとはみなさない。要するにカット

はドリブルと見ないという解釈をしているのであり、ジャグリングは甚とない、ために欧州においてはジャグリングの反則は適用してないとのことであった。しかし何れの場合においても、これが技術として戦術として生かし、故意に行つた場合は当然反則として審決される。

欧州におけるハンドボール競技は洗練された技術が充分に生かされ、ゲームが全くスピーディーに運営されていることである。それは身体接触の反則が非常に少ないからである。

日本の試合において一番多い反則は身体接触で大体一試合平均三十二位の反則がありその八〇％は身体接触である。日本の反則に比べて欧州における反則は一試合ある。このことは審判員も選手もお互いに危害防止上から注意していることである、お互いに協力をしあっている結果であることを証明される。

相手を阻止することは身体だけに限られ腕、手、脚で阻止することは許るされてい

ないものであるから、相手を阻止することは相手の進路に体だけで立防する方法しか用いえないのである。

ためにシュートするプレイヤーに後から腕、手、脚などでもどんなことをしても7米スローになる。横からの場合は注意を受け

くり返し行えば7米スローか二分間の退場となる。前方からでも強い反則等を犯せば注意なしで退場となる。ともあれ日本においては退場の処置は甚と見受けられないのであるが欧州における退場は日本の7米スローの数よりも多く、そしてわれわれから

見ると、いとも簡単に退場をせしめている。しかし審判によって異なる場面も多少見受けられた。例えばシューターが反則され乍らも充分な技量を出し切つてシュートを

してしまふとそれは反則とは見なされず、競技はそのまま続行されるためにこのような場合のシューターは手からボールを離さずに持っていることが7米スローを取ることに持つのである。危険なフット動作においても、頭を腰の下に下げて突込んだ場合と相手を前において片足を挙げジャンプするなど反則となり危険防止上の判定は厳重であると共に細部に亘つて注意が払われている。

(つづく)

ポストプレー(攻撃)について

担当 松本重雄

みんなで研究しよう

〔編〕集部から「技術編」の稿を依頼されてからかなり日数を経てしまった。そもその条件が、やや高度とあり、連続掲載とぎいてい。私には荷が過ぎるので全く恐縮した。連続して一編のものをこまぎれにして載せるのは、読む側としても、雑誌としても適当でないように思われる。それは諸先輩の単行本による指導書があるので充分と思うし、これからもそういった良書が出版されるものと信じているからだ。だから雑誌一冊を見て、他号を最後迄読破しなければならぬものよりも、一冊だけで、何かしら納得のいくもの、はあこんな意見も、考え方もあるものか、といったものが求められているのではないかと思う。その

意味でいろいろ編集部と話し合い、単に私だけのものではない、共同研究の場を読者と共に持ちたいと思、研究室という名にしてもらった。私のねらいは、数多い指導者

選手諸君が、日頃考えていること、疑問点、こうしたいと思っていて、その中の何かをテーマとして、散発のきらいはあるが一回づつまとめたいと思っている。たとえば、チーム作り、試合の作戦、フォーメーション、メンバー構成、メンバー交替、シュート、フュント、オフフェンス、ディフェンス、練習法、ルールの裏表、等々、実戦に対する細かい身近かな経験にもついたものを生かせるようにまとめたと思う。そしてこの研究室が協会の機関紙的スローの羅列等からくるあきのこ

ポストプレー(攻撃)について

い、期待と面白さをもった、親しみのあるものにしたいと希望し、読者の投稿を期待し、その一応の責をもつことを誓い、あえて筆をとったしだいである。

〔西〕独チーム来日(一九五六年)以来、日本のハンドボールは従来のドリブル多用のプレーから、パスワークを痛感し、現在その技術は実に一変してきたと言える。彼等はよくボールを廻し、それにつれての動きによりノーマークを作る機会が実に多かった。その頃のわれわれのプレーは、とくに攻撃の際、ドリブルを多用し、ボールキープの強い者がドリブルで強引にシュートに結びつけたり、フリースローの強肩者による得点等で、

決してパスワークから生じた得点のみでないプレー振りがよく見られた。その後約四カ年、パスワークに、動きに、洗練された西独チームのダイナミックさを取り入れて猛訓練をしてきた。例えば、ゴール前ローリングによる大きなゆさぶり、クロスプレーによる欺まん作戦、フォロコーソスの確認等であった。そして一九六〇年ルーマニアチームを迎え善戦をしたのは諸君の衆知のところであろう。しかし、残念ながら一矢もむくいることは出来なかつたこともまたしかりである。これは西独チームにまねたプレー振りが、悪い意味だけをとり上げるならば、いわゆる空廻り攻撃に過ぎ、ゴールに直結した動きと、ボールさばきが、組合わせ悪く、力強さをやや欠いたためであつたと思う。これまでリターンパスによる攻撃方法もするどさがなく、防御を少くずらせるプレーに努力はしていても、どうかして穴を作るべき作戦と技術が、いつの間にか、「こうしていれば穴が出来るであらう。何とかなるであらう」といったプレーの連続に変ってしまい、同じことをくりかえし、むやみに走り廻り無意味なパスにこだわつたようにも見えたことだ。一方ルーマニアチームは力強さを持ち、当時は、うま味、きれいさなどを否定したプレー振りのように感じたが、よくふりかえって見ると、攻撃の力強さは、そのアンサンブルのよさが随所に見られ、また生かされ、決してブルガルという強引なプレーヤーだけのチームではなかつた。ブルガルにチャンスを与える他のプレーヤーの動きと、チーム内の個人技の特徴をうまく組合せて連けいをとつた戦いぶりであつた。とくにゴール前の動きでは、ゴールエリアラインと、フリースローライン間の厚味を利用した細まかくそしてするどい穴をあける策が秘められていたと思う。だからこそ一九六一年室内世界選手権を獲得出来たのだ。この大会でドイツが四位に甘んじたこと、他の国々のプレー振りの技術的見解は、高嶋理事長が語っているので多言を要しないが、ケンパ氏(西独ハンドボール界の名監督)の教えなどを考え合せたドイツの敗因は、余りにもパスワークが空廻りに過ぎたと云える。実にきれいにパスを廻し、スムーズに動きはしても、それが横走りであつたり、ゴールの一方方向に穴をあける動きとパスのするどさを欠いたのではないかと思う。ルーマニア、チ



コスロバキアチームのプレー振り
は、全員が、ただ単に動き廻った
り、パスのみにこだわらず、ロン
グシューター、ポストプレーヤー、
ボールさばき者、フォロワー、強
引なキープ力の持主等、多種、そ
れぞれの個人技を生かした上での
組合せで勝利をものにしていた。
以上の経験や見学、自分のチーム
に対する練習等を基にして攻撃に
対する考えをまとめてみると、や
はり一部にもっとポストプレーを

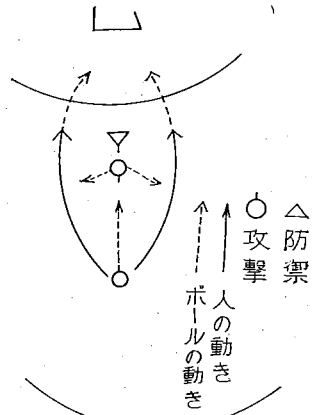
チーム作戦への応用

活用した技術的作戦の再考が、必
要かつせまられた問題と思われ
る。

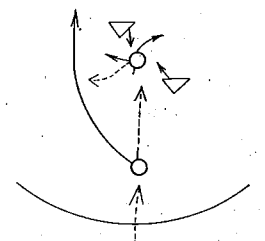
① ポストにボールを入れるプレー
からシュート
する
ロ、リターンパ
スによるシェ
ート
② ポストにボール
を入れないプレ
イ、ポストが防
御を固定させ
るプレー
ロ、ポストが防
御を引ずるプ
レ

ポストプレーから
シュートする瞬間
(関東学生リーグ
芝工大―明大戦か
ら芝工大北村のシ
ュート)

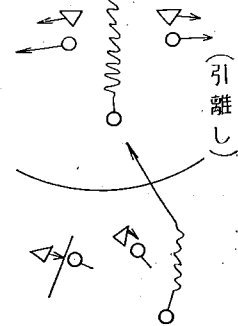
A 図



B 図



C 図(I)



C 図(II)

①の場合リターンパスによる縦の
するときは従来から多用されてい
るが、ここで考えられることは防
御を常に少く想定しがちであるこ
とだ、(A 図参照) ここで、ポ
ストプレーヤーのブロック技術と動
きによって、防御と同数或はそれ
以上(一人で二人を引きつける)
の敵を抜く技術が必要とされる。
(B 図参照) ②の場合 C 図の如
く、防御をチームの流れから固定
させて、味方を得点しやすくする
ことである。

従来のエリア内の動きは、むだ
走りが多く、チーム全体の動き
と、ボールの位置、穴をあけさせ
るべき地点の確認、そしてその連
絡などが、動き廻るだけではとき
れ勝ちであるし、全員の個人技を
活かしたプレーが分さんしがちで
もあるのだ、「ポストは止って、い
る必要あるとき動く」様に変って
きているとも云える。全体の攻撃
の中に、このポストプレーを一方
向の活路としたならばさらに強味
が加わることと思う。ボールの位
置とポストの位置、穴をあける位
置とシュートの組合せ、ポスト以
外のプレーヤーの動き等、フォー
メーションをいくつか作成し、そ
の確率を練習と実戦にためすこと
は我々ハンドボールマンにとって
たのしみかふえたことにもなる
と思う。ここで注意することは、基
礎のないプレーは作戦を実現させ
るのに零に等しいことは必然的で
あり、パス、キャッチ、リターン
パス、フェイント、ダツシュ、プロ
ッキング等、その練習がのぞまし
いし、いくらポスト・プレーがう
まくゆくからと云って、速攻、ロ
ーリングにおけるクロスプレーを
忘れてはならないと思う。十一人

制は六人对六人の動きに変わって
いる現在、そして七人制は、速攻六
割と云われながら実戦におけるそ
の何割減のため、セットプレーに
このポストプレーを大いに活用す
べきである。一言加えらるとポスト
プレーの秘けつはボールと人間に
よって、ゴールエリア、ラインと
フリースローラインの間に防御を
引つけて、引離す、ことが原則で
あることを忘れてはならない。
以上紙上でなかなか言尽すこと
は実際にグラウンドで行う場合と違
いむづかしいことであるが、諸君
の研究を期待している。

質問かんげい この技術研究室
はみんなて話し合いながら紙上
で研究していくページです、み
なさんの投稿をお待ちします。

ハンドボールの

スポーツ傷害

ハンドボール協会
トレーニンングドクター 広田公一

最近十年間 (1950-1960) にドイツのミュンスター大学で起こったスポーツ傷害のうち、特にハンドボールの項を中心に抜萃し要約した。原著は Sportarzt, Heft 4, 5, 1961。著者はミュンスター大学スポーツ医学研究所フリングス博士 (Dr. med. H. Frings) である。

訂正 前号「ハンドボール選手の基礎体力」の項で、15頁3段目の「(7)ハイバードステップ」は「(7)サイドステップ」の誤まりでした。訂正します。

第二表は男子の症例別にみたスポーツ傷害の内訳である。ハンドボールによる傷害が含まれている項目のみを拾ってみた。第三表はハンドボールによるスポーツ傷害男子二三例、女子一例の内訳である。詳細については原著を参照されたい。

十年間の発生件数二、八〇一、性別では男子二、一三二(七九・七%)、女子五六九(二〇・三%)である。全体の約九〇%が軽傷、約一〇%が重傷であった。

論文が不完全で、各スポーツ種目の普及度や参加人員が不明である。(訳者注)

第一表は、男子および女子のスポーツ傷害の内訳である。ハンドボールによるスポーツ傷害がサ

第1表

男子 (2,232例)	女子 (569例)
1. サッカー 635	1. 短距離競走 53
2. ハンドボール 233	2. スキー 48
3. 短距離競走 106	3. 走り巾とび 40
4. 水泳 100	4. 水泳 30
5. スキー 97	5. 体育 27
6. 徒手体操 85	6. 平行棒 26
7. バスケットボール 71	7. 走り高とび 24
8. 走り巾とび 66	8. バスケットボール 23
9. 平行棒 63	9. バレーボール 23
10. 飛び込み 59
11. 鉄棒 57	16. ハンドボール 11
12. 走り高とび 52	その他
13. テニス 40	
14. 中長距離競走 40	
15. バレーボール 38	
16. あん馬 36	
17. 槍投げ 33	
その他	

第2表

1. 足関節捻挫 317	バスケットボール 5	サッカー 3
サッカー 116	その他	その他
2. ハンドボール 25	5. 大腿四頭筋の剥離(肉ばなれ) 82	10. 半月板傷害を伴った膝関節捻挫 46
走り巾とび 19	ハンドボール 19	サッカー 19
バスケットボール 18	100m ダッシュ 19	スキー 8
スキー 12	サッカー 14	ハンドボール 6
徒手体操 12	走り巾とび 9	徒手体操 5
その他	その他	その他
3. 膝関節捻挫 233	6. 指関節捻挫 81	11. 略 45
サッカー 106	ハンドボール 35	12. 腓腹筋の剥離 11
スキー 28	バスケットボール 9	短距離競走 11
ハンドボール 26	サッカー 8	サッカー 7
徒手体操 11	その他	テニス 6
バスケットボール 10	7. 略	ハンドボール 3
その他	8. 大腿二頭筋の剥離 54	その他
3. 比較的重い擦過傷 98	短距離競走 23	13. 拇指の基部の関節の挫捻 39
サッカー 36	走り巾とび 10	ハンドボール 12
ハンドボール 12	ハンドボール 2	バレーボール 6
バスケットボール 8	その他	その他
その他	9. 軀幹の伸筋の剥離 53	14. 裂傷 38
4. 腕関節捻挫 87	飛び込み 19	サッカー 16
ハンドボール 18	走り高とび 6	ハンドボール 5
サッカー 16	ハンドボール 3	15. 以下
鉄棒 6		

第 3 表

ハンドボールによるスポーツ傷害
(男子 233例の内訳)

指関節捻挫	40
膝関節捻挫	26
足関節捻挫	25
大腿四頭筋剥離 (肉ばなれ)	19
腕関節捻挫	18
比較的重い擦過傷	12
拇指基部関節捻挫	12
半月板損傷を伴った膝関節捻挫	6
肋骨打撲	6
裂傷	6
大腿二頭筋剥離	5
上腿の打撲	4
上腕骨の尺骨側上骨果炎	4
肘関節捻挫	4
肩関節捻挫	4
軀幹伸筋群剥離	3
大腿二頭筋剥離	3
腓腹筋剥離	3
趾関節捻挫	3
肩鎖関節捻挫	3
半月板嵌頓	2
脳震盪	2
指の靭帯断裂	2
前腕の腱鞘炎	2
腎臓打撲	2
肋骨骨折	1
外腹斜筋断裂	1
上腿前部の筋ヘルニア	1
リンパ管炎 (手)	1
鼓膜穿孔	1
拇指基部関節脱臼	1
外傷性膝蓋骨脱臼	1
指の脱臼	1
十字靭帯損傷	1
脊ツイ薦骨打撲	1
大腎筋の血腫	1
三角筋剥離	1
膝蓋骨下滑液囊炎	1
手の水疱 (まめ)	1
鎖骨骨折	1
鼻骨骨折	1
中足骨骨折	1
Hoffa 氏病	1
頭蓋骨震盪	1
足根部の関節の捻挫	1
膝蓋骨の骨膜腫	1
濁背筋の剥離	1
内転筋の剥離	1
アキレス腱痛	1
足の水疱 (まめ)	1
(女子 11例の内訳)	
指の捻挫	5
肩鎖関節捻挫	2
大腿四頭筋剥離	2
拇指基部関節捻挫	1
上腕骨の橈骨側上顆炎	1

オリンピック東京大会に備えて東京都は駒沢(世田ヶ谷区)にスポーツセンターをつくることになった、九月四日そのクワ入れ式が行なわれ、昭和三十八年十月完工をめざして着工にはいった。

ところで、駒沢といえば、西宮などとならんで古くからわが国のハンドボール専用グラウンドとなじまれていたところである。このスポーツセンターの建設でハンドボール場がどうなるか、ハンドボール界にとって、一つの大きな問題である。

例の種目削減以前は、東京大会のハンドボール競技は駒沢に約七億円の予算で現在の場所に専用スタジアムをつくることになっていた。正式種目からはずされて以後は情勢も相当変わってきている。

現在の駒沢は、プロ野球(フライヤーズ)が使っている野球場をはじめハンドボール、フィールドホッケー、バレーボール、軟式野球場などが、雑然と配列されている

うえにその施設もお粗末である。

そこでオリンピックを機会に整備し、レクリエーションセンターをかねた競技場も新設。オリンピック以後は、国体など総合競技会にも使用できる規模に整えようというのがこんどの新計画である。

そのためにハンドボール場も当然改修、

今月の話題

姿消すか駒沢ハンドボール場

望まれる早急の代替地対策

または移転されるわけなのだが、完成後はどうやら「ハンドボール専用グラウンド」とはならないから頭が痛い。

計画では、現在のハンドボール場(二面)に野球場が移され、ハンドボール場は野球場と入れ替る。

しかし、移されたあとはハンドボール専

用としないで「運動広場」として使うことになり、グラウンドは掘り下げて地面よりやや下にし、周囲は芝生スタンドとする。

これまでの実績からこの「運動広場」がハンドボール競技優先となり、あるいはハンドボール専用グラウンドとなつて協会の責任管理ということになるのが、一番理想

行し、一日八試合を消化する二面のグラウンドを有した代替地など簡単に見つかるとは思わない。

協会と関東学連は現在、二、三の候補地を考えている。この様に、ある程度の犠牲をともなつても、半恒久的な専用グラウンドを確保すべきではないかとの声も上がっている。

もちろん土地買収や新設は経済的な面で望むべくもないが、既存の都営施設の優先使用を積極的に運動して、本拠地とするには必要であろう。これは単に関東学連だけの問題ではない。日本のハンドボール界が競技普及にこれまでみせてきた地道な努力が、グラウンド難から将来の発展を坐折させる危険性もないとはいえない。協会も早急に対策をこころうべき問題である。

東学連である。

おそらく工事の関係で今秋を最後に、来春からは駒沢以外のグラウンドでリーグ戦を開くことになろう。といつて一・二部併

地方だより

全茨城大が優勝

茨城 女子は北海道二高
総合

第十一回茨城県総合ハンドボール選手権大会は十一月十一、十二の両日、石岡高校グラウンドで行なわれ、男子は全茨城大、女子は北海道二高が優勝した。

▽男子一回戦

全茨城大 13 (6 7 1 3) 5 石岡一高

水戸工高 13 (5 8 1 1) 3 潮来高

A 土浦工高 14 (5 9 1 2) 8 麻布高

B 笠間高 22 (13 9 1 6) 11 水戸工高

石岡クラ 23 (12 11 1 1) 4 水戸一高

B 石岡一高 14 (7 7 1 6) 12 全笠間

日立製作 20 (13 7 1 3) 6 土浦一高

所 土浦工高 7 (4 1 1 3) 5 水工クラ

土浦工高 7 (4 1 1 3) 5 水工クラ

▽二回戦

全茨城大 13 (5 8 1 1) 7 水戸工高

A 土浦工高 16 (9 7 1 3) 11 笠間高

B 石岡クラ 8 (5 3 1 0) 6 石岡一高

土浦工高 12 (4 1 1 4) 7 日立製作

A 土浦工高 12 (4 1 1 4) 7 日立製作

▽準決勝

全茨城大 19 (12 7 1 5) 11 土浦工高

石岡クラ 13 (8 5 1 3) 10 土浦工高

▽決勝

全茨城大 12 (5 1 3 7) 10 石岡クラ

▽女子一回戦

八郷分校 12 (5 1 4 7) 7 日立二高

B 太田二高 21 (12 9 1 5) 7 笠間高

A 北海道二 21 (8 13 1 1) 3 八郷分校

高 太田二高 15 (6 1 4 9) 4 土浦一女

▽準決勝

太田二高 19 (11 8 1 3) 7 八郷分校

A 北海道二 14 (8 6 1 7) 9 太田二高

▽決勝

北海道二 10 (4 1 2 6) 5 太田二高

▽中学校の部順位

①赤塚中 ②土浦一中 ③千代田中 ④土浦二中

日立製作所でチーム結成

今年度から日立製作所が各県よりメンバーを集めてチームを結成した。今年は同好会程度であるが来年度から会社内の正規の運動部として承認される。実業団チームとして活躍が期待される。
(茨城県だより)

男女に京陵中活躍

▽熊本市中体連ハンドボール
月5日、熊本市立高校

(男子Aブロック)

京陵 18 1 3 鏡

湖東 不戦勝 二岡

京陵 15 1 10 湖東

(男子Bブロック)

城南 12 1 11 西部

竜南 10 1 7 水俣一

竜南 13 1 10 城南

(女子Aブロック)

京陵 3 1 1 大津

湯出 6 1 1 西部

京陵 8 1 5 湯出

(女子Bブロック)

豊川 5 1 4 八代一

水俣一 3 1 2 迫間

豊川 6 1 4 水俣一

浦和市高と熊谷商工

▽埼玉県高校新人戦は十一月二十六日浦和市立高校グラウンドで行なわれ、浦和市高と熊谷商工が優勝した。

▽男子(リーグ)

大宮 高 12 (6 1 3) 6 春日部高

浦和市高 11 (5 1 1 0) 1 大宮高

浦和市高 13 (6 1 3) 4 春日部高

▽女子(トーナメント)

関西学連で没収試合

関西学生リーグで没収試合があった。同リーグでは初めての出来事である。9月22日の関大―甲南大がそれである。この試合は12―6で関大が圧倒したが、後半26分に関大がメンバー・チェンジした。これがことの始まりである。関大は6番中野を引つ込めて13番近藤を出場させた。このときすでにスコアは12―6、ところが関大が当日提出したオーダーは11人しか記入していないから。近藤がプレーに移ってからこれに気がつき、甲南大から「未登録選手を出したのでルール違反になる。没収試合にすべきだ」と申し入れた。関大は11人しか記入しなかったことを認め、「理事会の決定にしたがう」とその場で回答した。関西学連(委員長 中江義雄 同志社大)は9月28日理事

事会を開いて「関大―甲南大の試合は没収試合とし、甲南大の勝ちと認める」と発表した。

▽関大はこの決定に対し「処分が苛酷すぎる」と抗議したが認められなかった。その後の試合でも関大はミスをやった。選手がユニフォームを間違えて審判から注意を受けた。関西学連で没収試合のような大きなミスを出したのは初めてだが、関大のマネージャー、学連役員、甲南大がちょっと注意すれば、オーダー記入の11人はすぐ発見できたケースである。

中江委員長の話「大変なミスを出した。11人しか記入していなかったのは関大のミスであり、故意にやったものではない。私としては没収試合にしたくなかった。しかし理事会の決定に従がうのがアマスポーツのあり方であり、この決定を尊重した。

早大、慶大に三連勝

▽準決勝
熊谷商工 13 (5 1 0 8) 0 熊谷女高

▽三位決定
深谷女高 7 (5 1 2 2) 5 浦和市高

▽決勝
熊谷女高 11 (6 1 2 5) 5 浦和市高

▽決勝
熊谷商工 9 (1 1 3 8) 3 深谷女高

第九回早慶ハンドボール定期戦は九月十五日午後七時三十分から国立競技場でナイター(四回目)として行なわれた。十八号台風のためコンディションは悪かったが、約三千五百の観客のなかで熱戦を展開。試合はFW力に優る早

大が前、後半とも着実にリード、三連勝した。なお対戦成績は早大の4勝5敗となった。

▽第三回高校戦

慶応高 9 (3-6-4) 7 早大学院

対戦成績は慶応高の一勝二敗

早大 16 (7-9-5) 10 慶大

▽第九回OB戦
三田ク 15 (8-7-10) 稲門ク (慶) 7 (3-3) (早)
対戦成績は三田クの五勝一敗二分
一中止
▽現役戦
☆ハンドボールでおなじみの駒沢グラウンドと西宮球技場が近く姿を消す。駒沢グラウンドは東京オリンピック大会の用地となるためである。西宮球技場はグラウンドの中央に名神(名古屋―神戸)高

話題の
チーム

⑧ 秋田和洋女高の巻



(写真は秋田和洋女高チーム)

秋田国体で地元の秋田和洋女高がベスト4に残り、堂々と4位になったのは驚異だった。というのはチームを結成してやっと四年目の新進チーム

だからである。ここまで成長したのは校長の高橋先生、大守先生、それに豊島監督(秋田大出身)の力が大きい。三十二年夏に芝浦工大が秋田県湯沢市で合宿したとき、豊島監督が見学に来た。これを参考に「チームづくり」に取りかかったというのだから大したものである。この学校はシツケのきびしいので有名、校門をはいると掲示板上「本校は良妻賢母を育成する」と書いてある。およびそのスポーツには縁遠い。それなのに「秋田国体があるから上位入賞をねらえるスポーツを……」と高橋校長が積極的になり出し、ハンドボール誕生となった。三十三年から現在まで芝浦工大OBの中沢君(芝浦工大コーチ)がコーチしてきた。又浦谷高校の合宿にも加えて貰った。三十三年のインターハイ(函館)で大敗したが、三十四年のインターハイ(仙台)では彦根東高を破って初めて1勝した。その後実力がつき、三十六年の東北選手権兼国体予選で名門の浦谷高(宮城)を破って優勝し、堂々と秋田国体に出場したわけである。全国大会で上位に入賞したのは秋田国体が初めて。三十七年三月には六人が卒業し、このうち太田嬢がレナウン工業(東京)に入社する予定。こんどは実業団チームの選手として活躍する。チーム・カラーはおしとやか、しかしこれかっ大いに躍進するチームである。

速度道路が通るためである。来春の学生リーグは、どこか適当なグラウンドをみつけないければならぬ。関西学連は豊中の服部競技場か、大阪学芸大池田分校のグラウンドを予定している。しかしいずれも交通の不便なところなのでいままら頭を悩ましている。

近く全国自衛隊大会

▽防衛庁は近く第一回全国自衛隊ハンドボール大会を開く。いままでラグビーの全国大会があったが、団体ゲームの必要なところから、いちばん親しみやすいハンドボールをとりあげた。

芝工大、連続代表に

王座決定東日本予選

第五回全日本学生王座決定東日本予選は11月12日仙台市の宮城野原総合グラウンドで中京大(東海学連)、東北学院大(東北・北海道学連)、芝浦工大(関東学連)の三チームによりリーグ戦を行なった。この結果芝浦工大が2勝して東日本代表となった。

芝浦工大	16 (8-8-2)	4	中京大	20 (10-10-7)	10	東北学院	24 (12-12-6)	8	東北学院	2 (1-2)	8
芝浦工大	2	2	芝浦工大	1	2	芝浦工大	1	2	芝浦工大	1	2

3 東北学院 2 敗

同志社大が初代表

王座決定西日本予選

第五回全日本学生王座決定戦西日本予選は11月16日午後2時から西宮球技場で行なわれた。同志社大(関西学連代表)は速攻と正確なシュートで広島商大(九州・中国学連代表)を24-13で破り、西日本代表となった。

同志社大 24 (13-11-7) 13 広島商大 (同志社大は初出場)

訂正 第7号31頁の三重県都市対抗競技大会準決勝、員弁郡19-6

津市は員弁郡19-16津市の誤りでした。また第6号、地方だより29頁九州近県室内総合選手権大会記録の女子準々決勝菊地農蚕高クラブ8-7明善高クラブは明善高8-7菊地農蚕高クラブの誤りでした。したがって同準決勝及び決勝の菊地農蚕高クラブとあるのは、明善高クラブの誤りで、正しい記録は次のとおり。

明善高	8	5	熊本市高	21	2	明善クラブ	21	8	3	6	明善高
明善高	1	2	明善高	1	2	明善高	1	2	明善高	1	2

全国的に 視野を広げて

この本には主に大学のことが書いてあるようですが、もう少し高校生のも書いてもらいたい。それに関東、関西の記事が多いようです。東北の高校、大学でも、毎日汗を流してがんばっているんです。もっと目を大きくあけて、日本のすみずみまで見て全国のことを書いたら、もっともっと発展すると思います。

(山形県・大沼勇)
係から一つとめて全国的な広範囲な取材を心がけております。読者諸兄姉の協力をお願いいたします。地方大会の写真などを係までお送り下さい。

問 神戸ストークとはどのような選手で形成されていますか？
来年度の全日本総合・実業団・全日本室内総合各選手権大会の開催地はどこですか？
(四国・車生)

答 昨年の第3回全日本教職員選手権大会で初優勝した神戸ストークは、学生時代にハンドボールの選手などをしていて現在神戸の学校の先生をしている人達が集って作っているクラブチームです。メンバーは監督大原靖

男、主将小島正雄、選手新井、平、梅田、横田、近藤、狩野、幸田、南、泉、藤原の顔ぶれです。なお昨年十月発行の本誌3号に写真が掲載されています。来年度の全日本総合は山口県

表紙写真の説明を

一愛読者ですが、表紙の写真が何だかさっぱりわかりません。何大会の何グラウンドで誰がシュートという具合に説明を加えて下さい。
(名古屋市・伊藤孝雄)

力を合わせて前進

ハンドボールはオリンピック東京大会から除外された。われわれハンドボールファンにとっては実に残念だ。こうなつた以上は1968年のオリンピックをめざして大きなプランを立ててもらいたい。そればかりではない。各競技団体がやっているように毎年国際試合をやつて日本のレベルをさらに引き上げるよう関係者に希望する。国

全日本室内は横浜市、実業団は名古屋市が予定されています。

問 日体大が韓国に遠征しましたが、ほかの大学の選手はひとりも行かなかつたのですか。
(鹿児島・一ファン)

答 韓国には日体大の出身者がいます。その人たちの招待で栗本学長らが遠征しました。協会からは馬場太郎副会長(日体大出)が同行しました。同副会長は現在桃山学院大学の監督をしています。

問 第十八回山口国体の開催地(ハンドボール)はどこですか。
(東京・高校生)

答 山口県の徳山市と下松(くだまつ)市です。なお第十七回大会(岡山県)は倉敷

際試合には日本へ招待すると、海外に遠征するのと二つある。外国チームを招待するのでもいいが、それよりも海外に遠征して各国の実力を打診することの方が成果が大きい。十月に日体大が韓国に遠征して6戦6勝の記録を残した実力の差ではあつたらうが、なかなか油断ができない。一、二年もすればかなり強力になる。韓国を無視することはできない。いまのところ日本が指導的な立ち場で大いにコチして行くことが大切だと思ふ。スポーツには国境がない。共産圏は非常に強いので中国でもルーマニアでもチェコでもソ連でもいい。ドイツ、フランスでもいい。日本の力を上げることが1968年のオリンピックに備えるものと思う。それにはハンドボール出身者が力を合わせて前進することだ。
(大阪・稲川政右衛門)

市です。

問 関西学生リーグの二部のチームをお知らせください。
(広島・一高校生)

答 立命大、大阪市大、大阪歯大、大阪経大、大阪学芸大、大阪工大、大阪大学の七チームです。なお立命大は秋のリーグ戦で優勝しましたが、一、二部入れ替え戦で大阪府大(一部)に負けました。

問 反則数が非常に多いのは感心しません。フリー・スローと改称した方がいいのではないかと。
(熊本・一ファン)

答 確かに反則の多いのは感心しません。フリー・スローにした方が見た目もいい。審判の中でもフリー・スローにした方がいいといっています。研究してみます。

編集後記

機関誌を出して第八号目、年間に四回出すことになっているのでちょうど二年になります。最初のうちはどうなるものかと思案していましたが、無事二年間を過ぎました。機関誌を出すことはハンドボールファンの絶大な応援がなければできません。その点大いに感謝していただきます。

▽：日体大が韓国に遠征したので、その記録を掲載しました。韓国は日本とは切っても切れない深い仲です。戦後十六年にして親善試合ができたのはよろこばしいことです。韓国側の希望は日本の高校チームを招待し、韓国の大学チームを日本へ遠征させたいということです。これからは日韓の間でハンドボールが盛んになりましょう。

▽：芝浦工大がこつしも公式戦で27連勝した。りっぱなものだと感心しています。

▽：地方のニュースが少ないので困っています。地方のニュースを知りたい人のためにどしどし送ってください。「熊本市では中学大会をやっているとかきいている。その記録をほしい」というファンがいます。熊本に限らずどんな記録でも結構ですから編集部まで送ってください。

▽：NHK(名古屋)の杉山記者は本誌のために地方のニュースをよくまとめてくれます。感謝しています。

● 群衆の中でも、大自然の中でも……

レナウン スポーツシャツ



RENOWN, MEN'S
SPORT WEAR



レナウン商事株式会社
札幌・仙台・広島・福岡

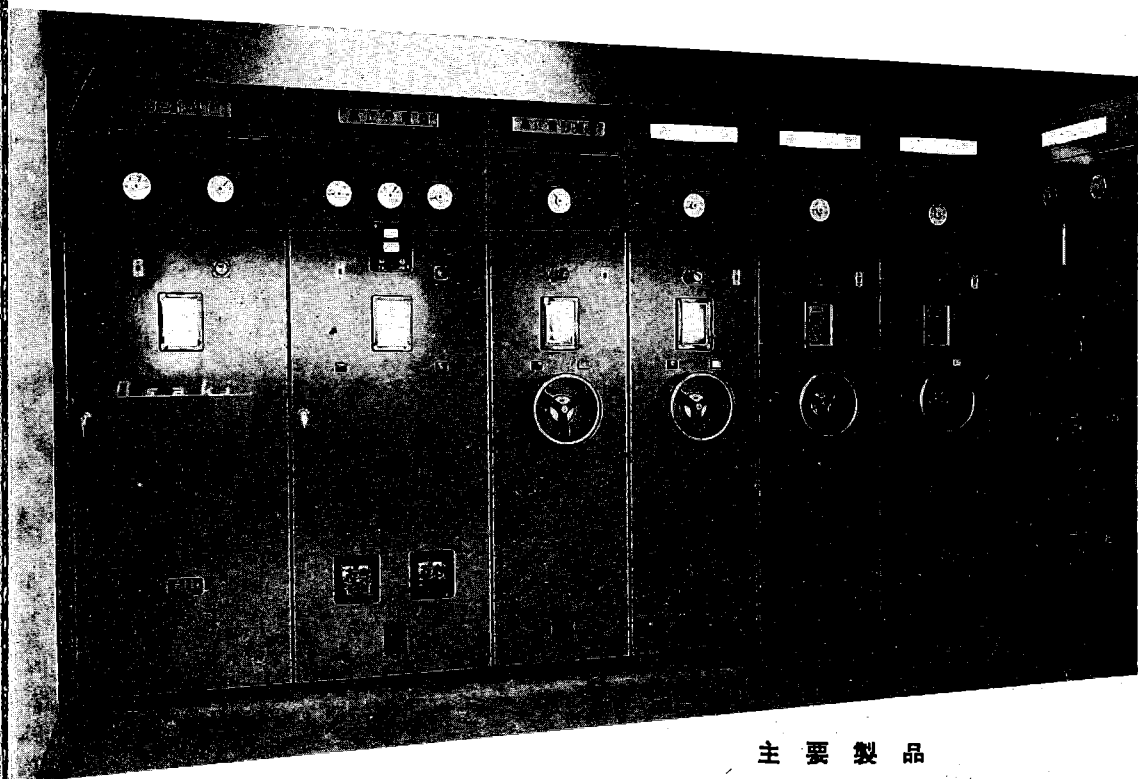
東京・大阪・名古屋



Osaki

歴史を誇る 大崎の電力設備

配電盤
分電盤
動力制御盤



主要製品

各種積算電力計、テレメーター
計器用変成器、標準変成器
安全ブレーカー、ノーヒューズブレーカー
誘導型自動電圧調整器
静止型自動電圧調整器
各種試験用機器
配電盤・分電盤・動力制御盤

本社変電室
キュービクル型受配電盤



大崎電氣工業株式会社

本社・五反田工場 東京都品川区五反田1-263 電話白金(441) 2111 (代表)
蒲田工場 東京都大田区原町10 電話蒲田(731)4013-5, 3222

日本ハンドボール協会編

ハンドボール

第八号

昭和三十六年十

十日印刷

発行所

東京都千代田区神田駿

四ノ六

編集兼

的場益雄

定価五十円
(平)二十円

昭和三十六年十

月十五日発行

日本ハンドボール協会

電話(261) 九五一一

電話東京五八三三四八番